

楽NAVI

取付説明書

AV 一体型メモリーナビゲーション

フローティングモデル (70-シリーズ)	720 シリーズ (720型)	120 シリーズ (120型)
AVIC-RF920-DC	AVIC-RQ720	AVIC-RW120
AVIC-RF720	AVIC-RL720	AVIC-RZ120
	AVIC-RW720	
	AVIC-RZ720	
920 シリーズ (920型)		
AVIC-RQ920-DC		
AVIC-RL920-DC		
AVIC-RW920-DC		
AVIC-RZ920-DC		
	520 シリーズ (520型)	
	AVIC-RL520	
	AVIC-RW520	
	AVIC-RZ520	

- 車への取り付けは、必ずこの取付説明書と取扱説明書の「安全上のご注意」に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。
- 別売製品接続および取り付けについては、別売製品に付属の説明書も併せてご覧ください。
- 販売店様へ
接続、取り付け作業が完了しましたら、この取付説明書はお客様へお渡しください。

目次

①はじめに	
● 同梱物や付属品を確認する	2
②各ケーブルの接続のしかた	
● 接続の前に知ってほしいこと	4
● 接続端子の名称と働き	6
● システムの接続	8
● 電源ケーブルの接続	12
● ステアリングリモコンとの接続 (AVIC-RF/RW/RZ シリーズ)	15
● カメラユニットの接続	16
● 専用ドライブレコーダー 「VREC-DS810DC」の接続	18
● リアモニターへの接続 (70-シリーズ) (920型) (720型) (520型)	20
● リアモニターへの複数台接続 (70-シリーズ) (920型) (720型) (520型)	21
● スマートフォン (Android™ 端末) の接続 (70-シリーズ) (920型) (720型) (520型)	22
● iPhone/iPod の接続	23
③車両への取り付けかた	
● 取り付けの前に知ってほしいこと	24
● モニターの角度と取り付け寸法について (70-シリーズ)	25
● ナビゲーション本体の取り付け	28
● GPS アンテナの取り付け	34
● フィルムアンテナの取り付け (70-シリーズ) (920型) (720型) (520型)	35
● 音声入力用マイクの取り付け	41
④接続・取り付けが終わったら	
● 接続・取り付けの確認を行う	42











同梱物や付属品を確認する

■ナビゲーション本体関係





AVIC-RQ920-DC/RL920-DC/RW920-DC/
RQ720/RL720/RW720

①		ナビゲーション 本体	× 1
②		バインドネジ (5 mm × 8 mm)	× 8


AVIC-RF920-DC/RF720

①		ナビゲーション 本体	× 1
④		トラスネジ (5 mm × 8 mm)	× 8
⑤		皿ネジ (5 mm × 9 mm)	× 8
⑫		モニター	× 1
⑮		トルクヒンジ ユニット	× 1
⑰		フローティング用 スペーサー	× 1
⑲		トルクヒンジ固定用 ネジ (30 mm)	× 4
⑳		トルクヒンジ固定用 ネジ (6 mm)	× 4
㉑		モニター固定用 ネジ (12 mm)	× 4
㉒		背面カバー用ネジ (2 mm × 4 mm)	× 2



AVIC-RZ920-DC/RZ720/RZ520/RZ120

①		ナビゲーション 本体	× 1
③		スペーサー *1	× 1
④		トラスネジ (5 mm × 8 mm)	× 8
⑤		皿ネジ (5 mm × 9 mm)	× 8





AVIC-RL520/RW520/RW120

①		ナビゲーション 本体	× 1
④		トラスネジ (5 mm × 10 mm)	× 10

■GPSアンテナ関係



⑥		GPS アンテナ	× 1
⑦		金属シート	× 1
⑧		両面テープ	× 1

■フィルムアンテナ関係*1

⑨		地デジ用 フィルム アンテナ	⑨・⑩ 各 2
⑩		アンテナ ケーブル	× 4
⑪		クリーナー クロス	× 1
⑫		クランプ	× 4




*1 : AVIC-RW120/RZ120 は除く

■接続ケーブル関係

⑬		カメラ端子変換 コネクタ	× 1
⑭		AV ケーブル *1	× 1


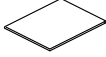
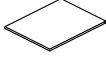
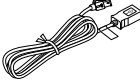
*1 : AVIC-RL520/RW520/RZ520/
RW120/RZ120 は除く

AVIC-RF/RW/RZシリーズ

⑮		電源ケーブル*1	× 1
⑯		Uエレメント コネクタ*1	× 1
⑰		汎用ステアリング リモコンケーブル*2	× 1

*1：AVIC-RW120 は除く
*2：AVIC-RW120/RZ120 は除く

■ ネットワークスティック関係*1



⑲		ネットワーク スティック	× 1
⑳		ネットワーク スティック 取扱説明書	× 1
㉑		契約書	× 1
㉒		ネットワーク スティック 接続ケーブル	× 1

*1：型番の末尾に -DC が付いたモデルのみ付属

AVIC-RL520/RW520/RZ520/RW120/RZ120

⑱		USB 接続ケーブル (タイプ A)	× 1
---	---	-----------------------	-----

■ 音声入力用マイク

㉓		音声入力用マイク	× 1
㉔		両面テープ (15 mm × 12 mm)	× 1

■ 接続・取り付け部品機種別一覧表

型番	取り付け部品番号																																	
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	㉜		
AVIC-RF920-DC		-		○	○																													
AVIC-RQ920-DC			-																															
AVIC-RL920-DC	○	○		-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○																				
AVIC-RW920-DC																																		
AVIC-RZ920-DC		-	○	○	○																													
AVIC-RF720		-		○	○																													
AVIC-RQ720																																		
AVIC-RL720	○	○		-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○																				
AVIC-RW720																																		
AVIC-RZ720		-	○	○	○																													
AVIC-RL520																																		
AVIC-RW520	○	-	-	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-																				
AVIC-RZ520					○																													
AVIC-RW120	○	-	-	○	-	○	○	○	-	-	-	-	○	-																				
AVIC-RZ120					○																													

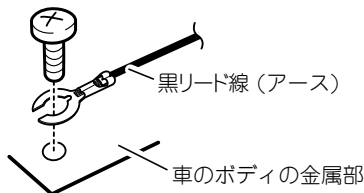
📌 メモ

- AVIC-RQ920-DC/RQ720/RL920-DC/RL720/RL520に必要なケーブル類は、別売のカーナビゲーション取付キットに同梱されています。AVIC-RW120の取り付けには、別途取付キット等が必要になります。取り付けについては取付キットに付属の説明書も併せてご覧ください。
- オプション品または別売品について、詳しくは『取扱説明書』の「オプション品一覧」をご覧ください。

接続の前に知ってほしいこと

■ 接続上のご注意

- 接続する前に、必ず車のバッテリーのマイナス端子を外してください。
- 本機の黒リード線（アース）を必ず最初に車のボディの金属部に確実に接続してください。



- エンジンスイッチにACCポジションがない車には絶対に取り付けられないでください。取り付けたら、バッテリー上がりの原因になります。
- 赤リード線（アクセサリ電源）は、常にバッテリーから電源が供給される電源回路には接続しないでください。接続するとバッテリー上がりの原因になります。
- 黒リード線（アース）は、パワーアンプなどの消費電流が大きい製品のアースとは別々に取り付けてください。まとめて取り付けたら、ネジが緩んだり外れたりしたとき、製品の発煙・故障の原因となる恐れがあります。
- 必ず付属の部品を指定どおりに使用してください。指定以外の部品を使用すると故障する恐れがあります。
- スピーカーのリード線を直接アースしたり、複数のスピーカーの（-）リード線を、共通にして接続しないでください。
- 本機と組み合わせるスピーカーには、最大入力50 W以上のハイパワー用で、インピーダンスが4 Ωから8 Ωのものを使用してください。規格以外のスピーカーのご使用は、スピーカーやアンプの発火・発煙・破損の原因となります。

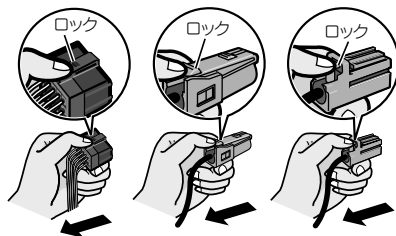
- ガラスアンテナ車など、アンテナブースターの電源がある場合、必ず本機の青/白リード線（アンテナコントロール）を車側のアンテナブースターの電源に接続してください。接続を忘れるとラジオ放送の受信ができません。

アンテナブースターの電源の位置は、車種によって異なります。詳しくは、取り付け技術のある販売店にご相談ください。

■ コネクタの脱着のしかた

- コネクタは、“カチッ”と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。
- スムーズに入らない場合は、無理に挿入しないでください。故障の原因となる場合があります。色が間違っている可能性がありますので、コネクタどうしの色を確認してください。
- コネクタを外すときは、図のようにコネクタ部分を持ってロックを押しながら引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。

例：



■ 接続のポイント

ノイズ防止のため、次のものはナビゲーション本体や他のケーブル類、コード類からできるだけ離して配置してください。

- フィルムアンテナおよびそのアンテナコード
- FM/AMアンテナおよびそのアンテナコード
- GPSアンテナおよびそのアンテナコード

それぞれのアンテナコードどうしでもできるだけ離してください。一緒に束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。アンテナやアンテナコードにノイズが飛び込むと受信感度が悪くなります。

● 電源配線キットを別売しています

システム全体の消費電流が大きくなると、電圧が不足する場合があります。そのようなときは、バッテリーから直接電源をお取りください。当社では、電源配線キットを別売していますので、販売店にご相談ください。

■ 車速信号入力線(ピンク色)の接続について

- 車速信号入力線(ピンク色)は、内蔵の3Dハイブリッドセンサー用のリード線です。必ず接続してください。
- 車速信号入力線(ピンク色)を接続しない場合は、簡易ハイブリッド方式で動作し、測位誤差が大きくなる場合があります。

■ パーキングブレーキスイッチ入力線(若草色)の接続について

- 車速信号入力線(ピンク色)が接続できず、簡易ハイブリッド方式で使用する場合は、パーキングブレーキスイッチ入力線(若草色)を必ず接続してください。接続しないと一部の機能が使用できなくなります。
- 車速信号入力線(ピンク色)を接続している場合、パーキングブレーキスイッチ入力線(若草色)の接続は任意です。
- パーキングブレーキスイッチ入力線(若草色)の接続の有無にかかわらず、走行規制は速度検知によりかかります。

■ 市販のケーブルの接続について

- 市販のUSBケーブル、Lightning-USBケーブルおよびLightning-Digital AVアダプターなどは車載用製品ではありません。パイオニア推奨のケーブル以外を使用する場合は、車内に放置しないでください。
- 市販のUSBケーブル、Lightning-USBケーブルおよびLightning-Digital AVアダプターなどは、全ての製品の動作を保証するものではありません。

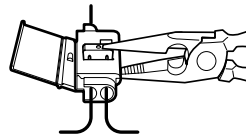
■ Uエレメントコネクタの接続方法

Uエレメントコネクタを使用する際は、下記の方法で接続してください。

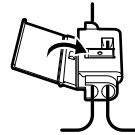
1 車速信号入力線(ピンク色)と車速検出回路のリード線を穴に通します



2 ラジオペンチで強くはさみます



3 ふたをしっかりとかぶせます

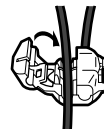


必ず付属のUエレメントコネクタを使用してください。指定以外のものを使用すると接触不良の原因となります。

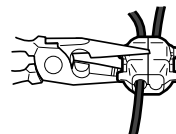
■ 圧着式コネクタの接続方法

圧着式コネクタを使用する際は、下記の方法で接続してください。

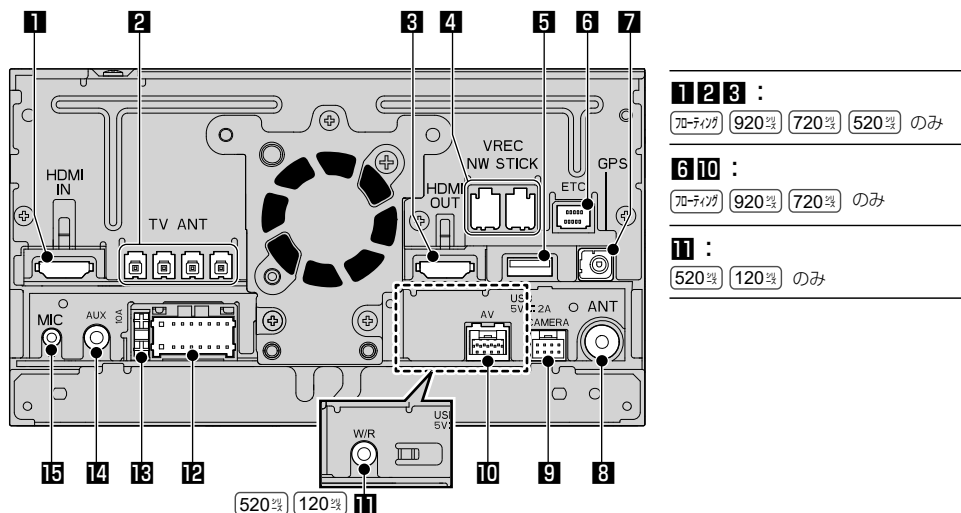
1 リード線をはさみ込みます



2 ラジオペンチで強くはさみます



接続端子の名称と働き



1 HDMI® 入力端子 (Type A) (黒)

HDMI出力に対応した別売のドライブレコーダーユニットや市販のHDMI機器 (ブルーレイディスクプレーヤーなど)が接続できます。また、別売のケーブルを使用して、一部のAndroid™端末やLightningコネクタのiPhone/iPodも接続できます。

➔「スマートフォン (Android™ 端末) の接続」(P.22)

➔「iPhone/iPodの接続」(P.23)

2 地上デジタルテレビ用フィルムアンテナ接続端子 (黒)

付属の地デジ用フィルムアンテナを接続します。

3 HDMI 出力 (リアモニター出力) 端子 (Type A) (黒)

HDMI入力に対応した別売のパイオニア製リアモニターなどが接続できます。

4 ネットワークスティック / ドライブレコーダー接続端子 (茶)

ネットワークスティック接続ケーブルを使用してネットワークスティック (同梱または別売) を接続できます。また、別売の専用ドライブレコーダーユニットを接続することもできます。ドライブレコーダーユニットとネットワークスティックは2つの端子どちらに接続しても問題ありません。

本端子にUSBメモリーを接続しても本機では認識されません。

5 USB 接続端子 (Type A) (白)

別売の接続ケーブルを使用して、iPhoneやUSBメモリーが接続できます。

➔「iPhone/iPodの接続」(P.23)

6 ETC ユニット接続端子 (黒)

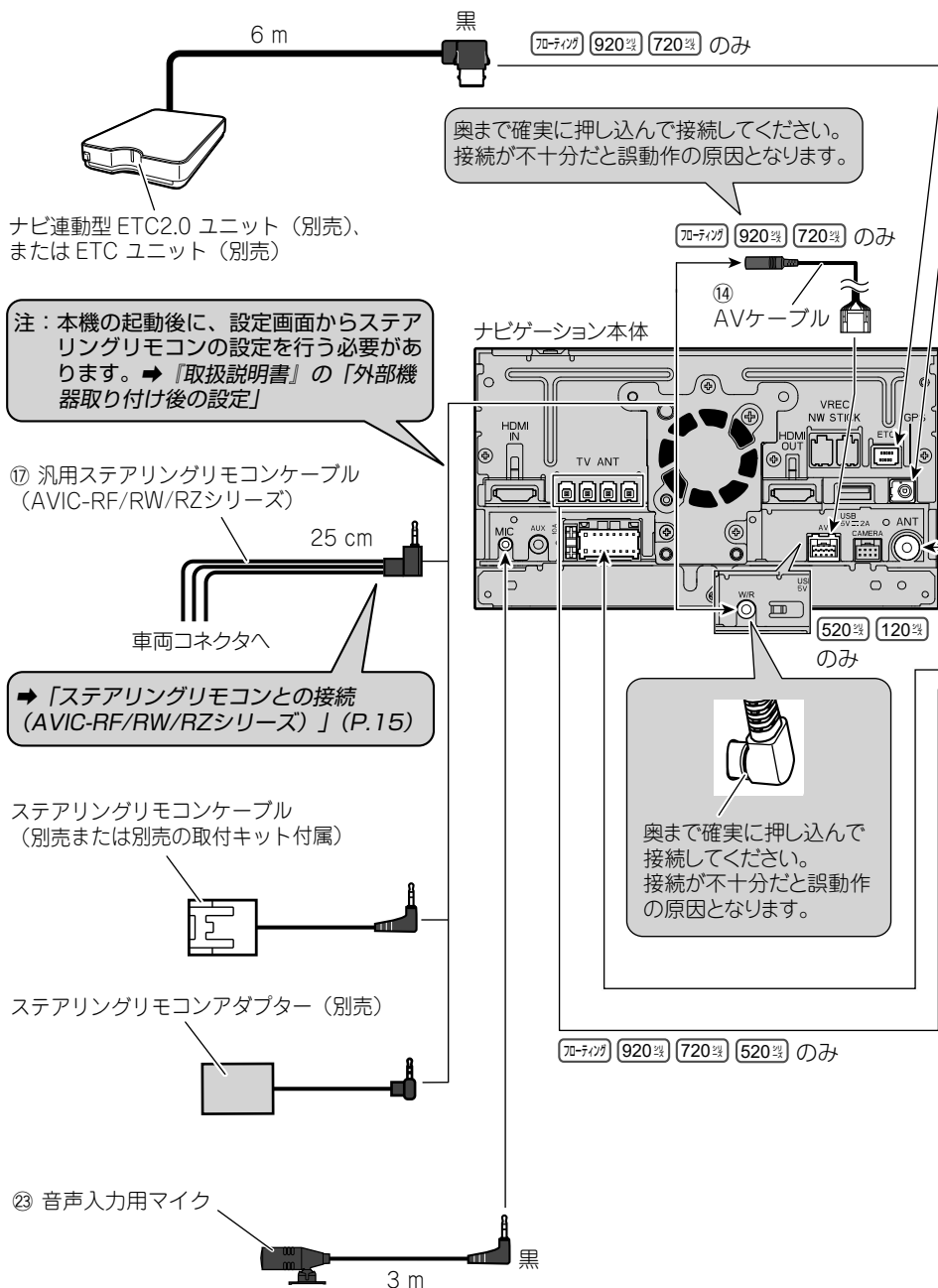
別売のETC2.0ユニットまたはETCユニットが接続できます。

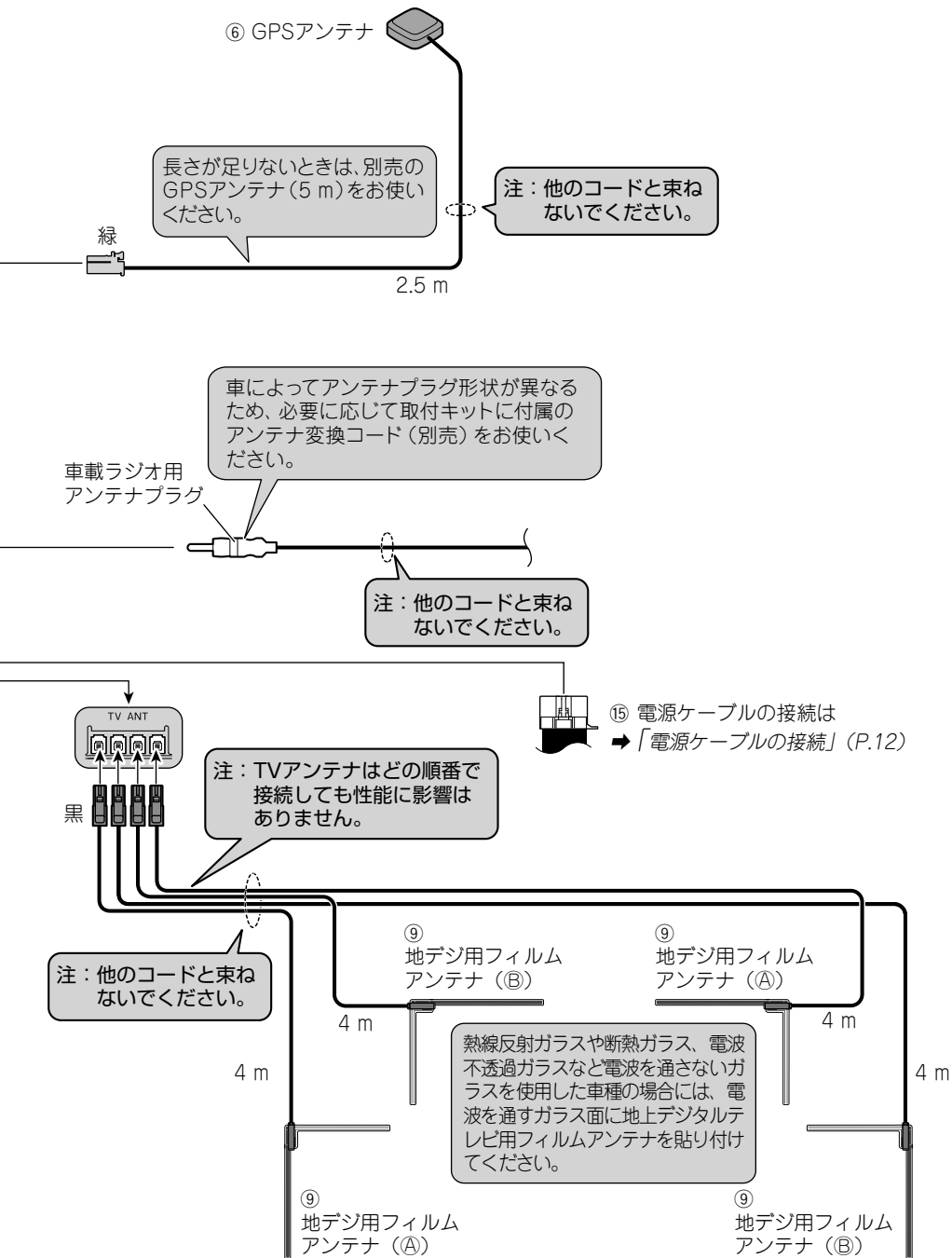
7 GPS アンテナ接続端子 (緑)

付属のGPS アンテナを接続します。

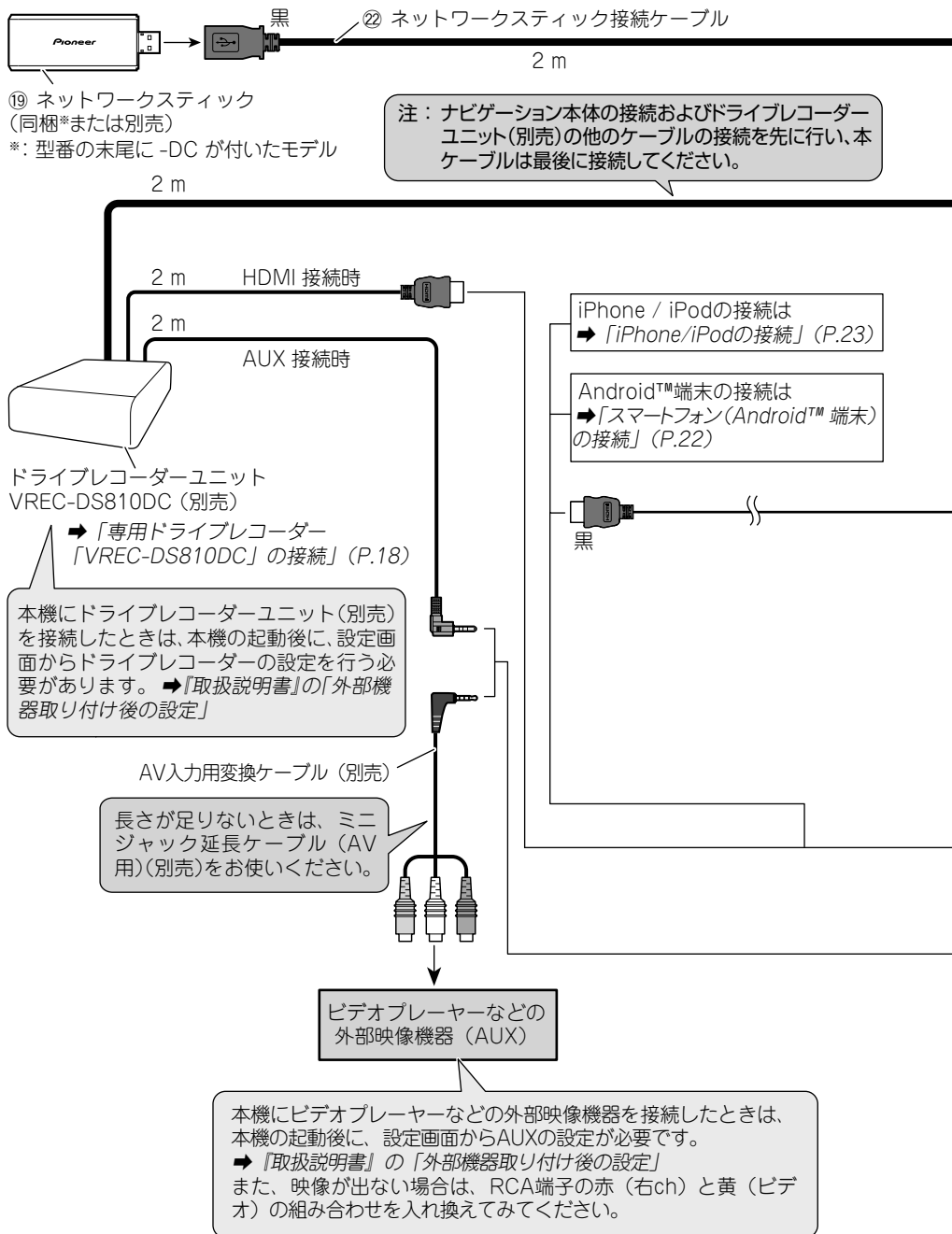
- 8 AM/FM/FM VICS 用アンテナ入力端子**
車載のラジオ用アンテナを接続します。
(必要に応じて別売の取付キットに付属のアンテナコードをご使用ください。)
- 9 バックカメラ接続端子 (白)**
別売のバックカメラユニットが接続できます。また、別売の純正バックカメラコネクタ変換ケーブルを使って、一部車両の純正バックカメラも接続できます。➡「カメラユニットの接続」(P.16)
- 10 リアモニター・サブウーファー出力 / ステアリングリモコン接続端子**
付属のAVケーブルを使用して、別売のリアモニターやパワードサブウーファー、ステアリングリモコンケーブルが接続できます。
- 11 ステアリングリモコンケーブル / ステアリングリモコンアダプター接続端子 (黒)**
付属、あるいは別売のステアリングリモコンケーブル、または別売のステアリングリモコンアダプターが接続できます。
- 12 電源端子 (黒)**
付属、あるいは別売の電源ケーブル、または別売の取付キットに付属の電源ケーブルが接続できます。
- 13 ヒューズ**
ヒューズを交換するときは、規定容量 (アンペア) のヒューズを使用し、専門業者や販売店などに依頼してください。
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。
- 14 AUX 入力端子 (黒)**
別売のドライブレコーダーユニットやビデオプレーヤーなどの外部映像機器が接続できます。
- 15 音声入力用マイク入力端子 (黒)**
付属の音声入力用マイクが接続できます。

システムの接続





システムの接続 (続き)



注：いずれか一つしか接続できません。

iPhone/iPod の接続は
→ 「iPhone/iPod の接続」 (P.23)

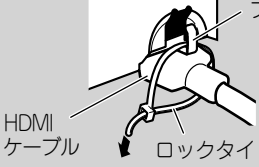
⑱ USB接続ケーブル (同梱または別売) USBメモリー (市販)



注：USBハブを使用しての接続には対応していません。

茶 茶

HDMIケーブルを接続したときは、
図のように市販のロックタイを使って
ケーブルを固定してください。



HDMI ケーブル
(Type A-Type A オス - オス)
(別売)

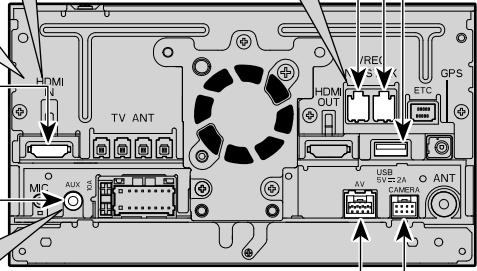
HDMI
機器

ドライブレコーダーユニット、
ネットワークスティック接続
ケーブルをどちらの端子に接
続しても問題ありません。

本機に HDMI 機器を接続したときは、本機の起
動後に、設定画面からリアモニターの設定が必要
です。→ 「取扱説明書」の「外部機器取り付け
後の設定」

70-タイプ 920 720 のみ

ナビゲーション本体



注：ビデオプレーヤーなどの外部映像機器
のいずれかひとつしか接続できません。

70-タイプ 920 720 のみ

サブウーファアの接続は
→ 「電源ケーブルの接続」 (P.12)

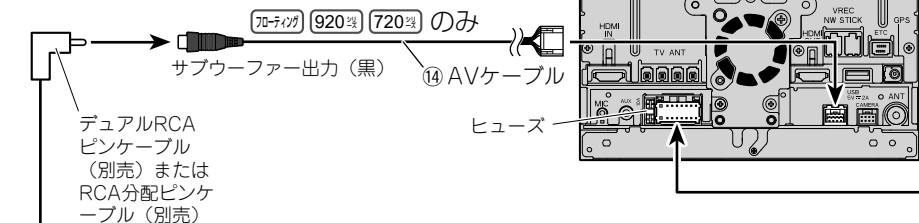
バックカメラユニットの接続は
→ 「カメラユニットの接続」 (P.16)

電源ケーブルの接続

AVIC-RF/RW/RZシリーズ <AVIC-RW120は除く>

(付属の電源ケーブルを使用する場合)

ナビゲーション本体



デュアルRCA
ピンケーブル
(別売)または
RCA分配ピンケ
ーブル(別売)

ヒューズ

車両のアンテナブースター電源

※サブウーファーを接続しない場合や、丸型キボシ端子の場合は、直接アンテナコントロール/システムコントロール端子に接続します。

※車載のアンテナがオートアンテナの場合、ACC電源に連動してアンテナが上がります。屋内ではご注意ください。

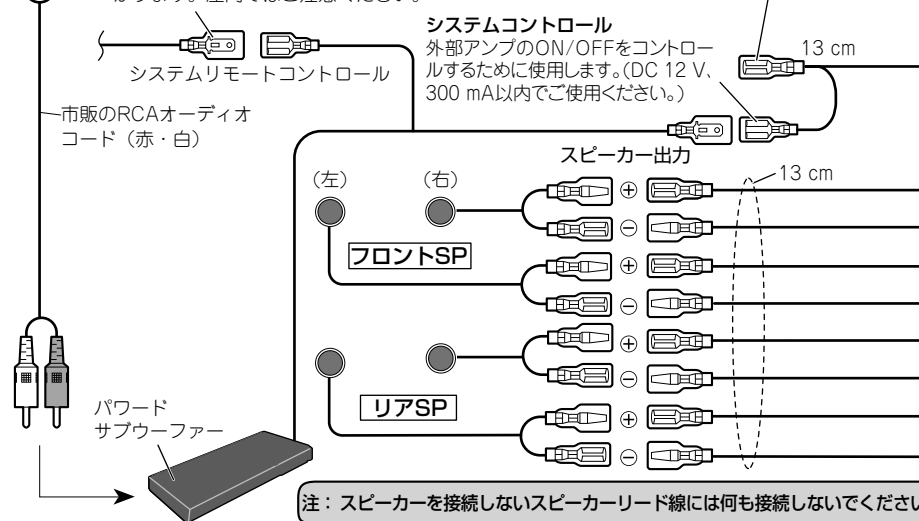
アンテナコントロール

アンテナをコントロールするために使用します。(DC 12 V、300 mA以内でご使用ください。)

下記車両については未接続状態の場合ラジオが受信できない場合がありますので必ず接続してください。

- オートアンテナ車の場合※: 車側のオートアンテナのコントロール入力端子に接続してください。
- ルーフアンテナ車やガラスアンテナ車などの場合: 車側のアンテナブースターの電源入力端子に接続してください。

※車載のアンテナがオートアンテナの場合、エンジンスイッチのON(本機の電源ON)に連動してアンテナが上がります。屋内ではご注意ください。



システムリモートコントロール

システムコントロール

外部アンプのON/OFFをコントロールするために使用します。(DC 12 V、300 mA以内でご使用ください。)

市販のRCAオーディオコード(赤・白)

パワー
サブウーファー

スピーカー出力

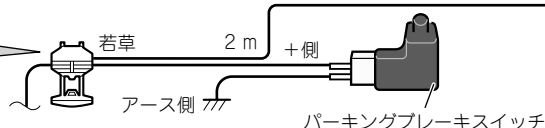
(左) (右)

フロントSP

リアSP

注: スピーカーを接続しないスピーカーリード線には何も接続しないでください。

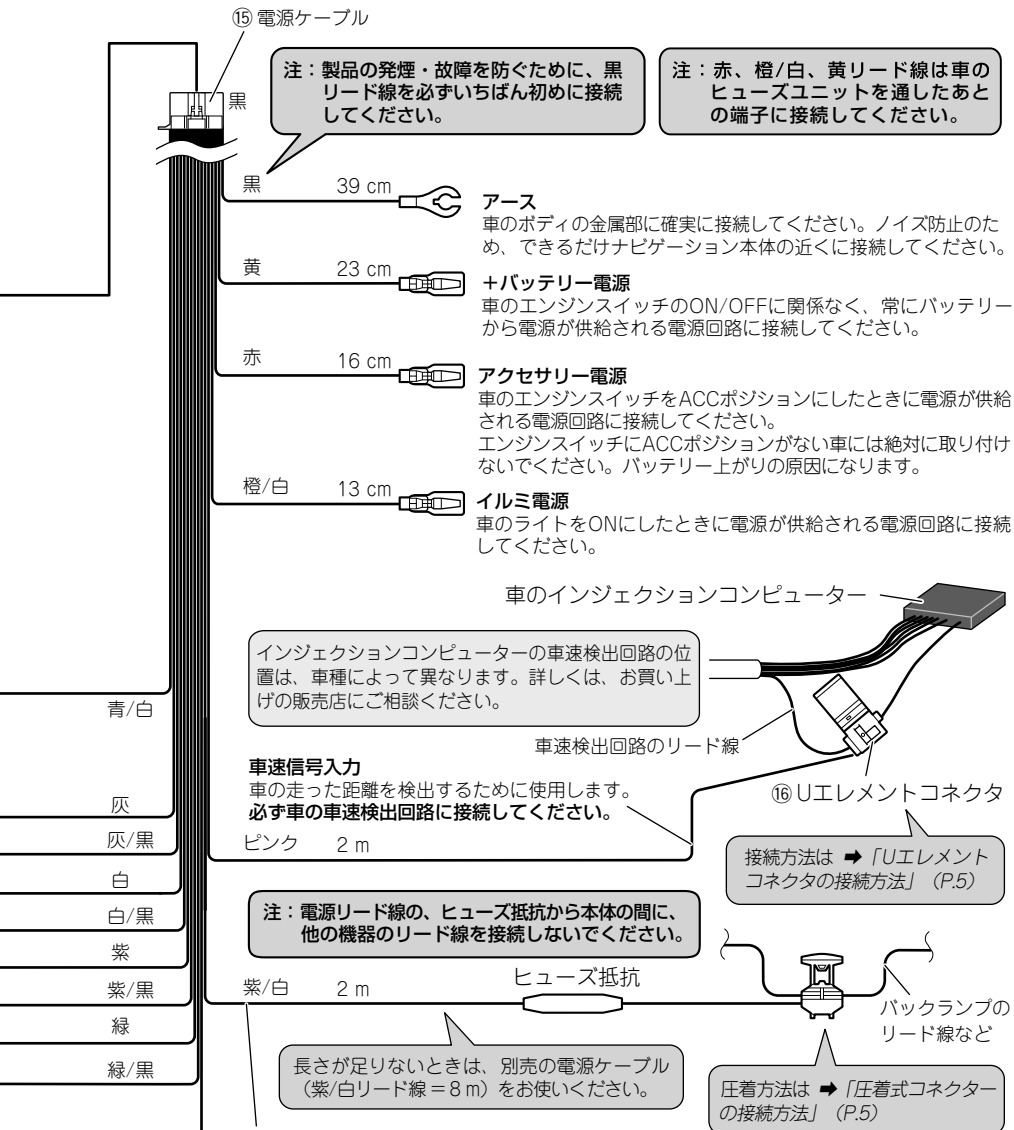
圧着方法は → 「圧着式コネクターの接続方法」(P.5)



パーキングブレーキ

車が停車していることを確認するために使用します。ピンクリード線(車速信号入力)が接続できず、簡易ハイブリッド方式で使用する場合は必ずパーキングブレーキスイッチの+側リード線に接続してください。

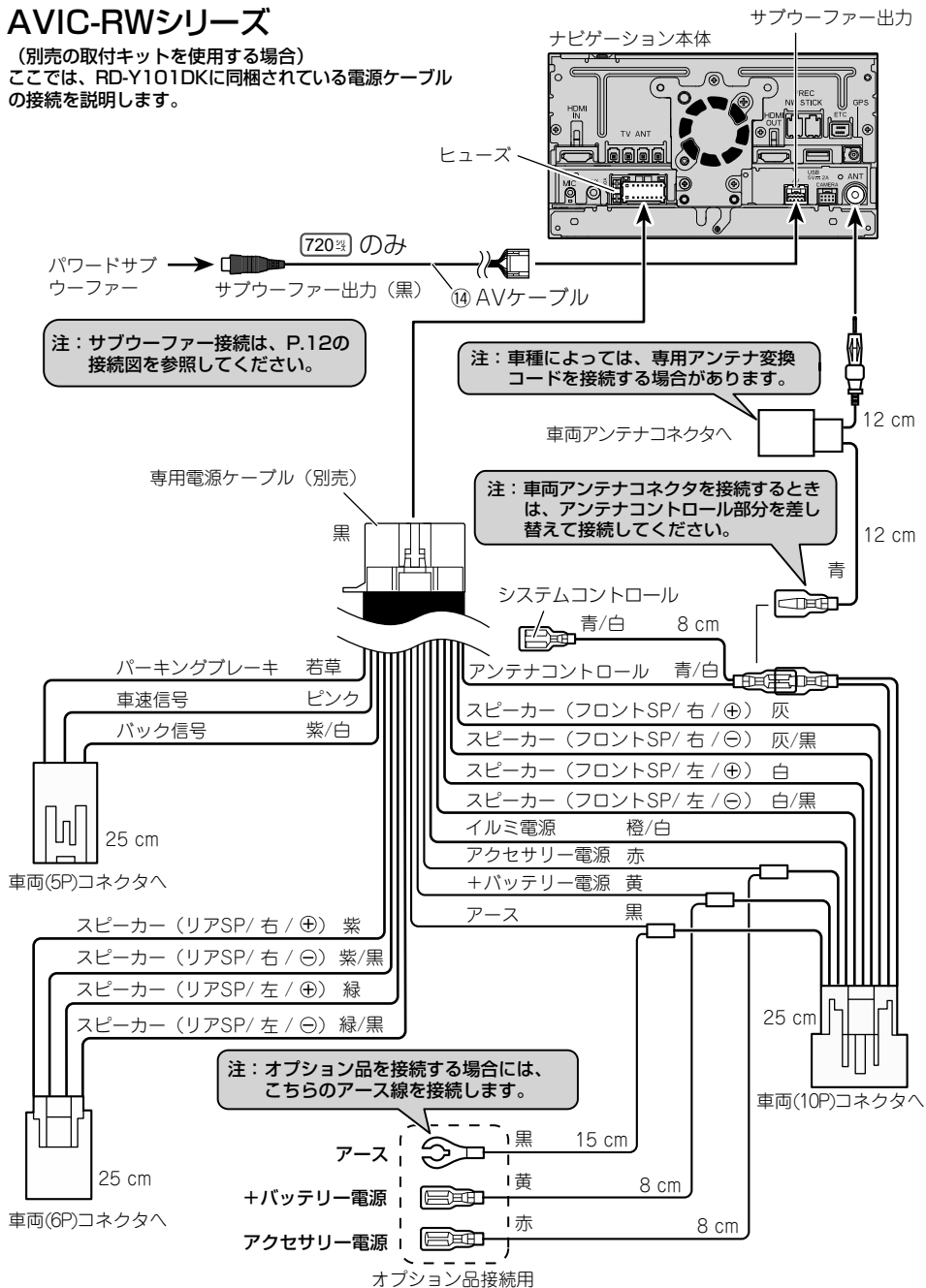
パーキングブレーキスイッチ



電源ケーブルの接続

AVIC-RWシリーズ

(別売の取付キットを使用する場合)
ここでは、RD-Y101DKに同梱されている電源ケーブル
の接続を説明します。



ステアリングリモコンとの接続 (AVIC-RF/RW/RZシリーズ)

■接続上のご注意

- 同梱の汎用ステアリングリモコンケーブルの接続には、市販のUエレメントコネクタ等（3個または2個）が別途必要です。車両側の配線が細い場合があるため、適切なサイズのUエレメントコネクタ等をご用意ください。
- 車種ごとに適合したパイオニア製ステアリングリモコンケーブル（別売）もご使用いただけます。適合情報については以下のホームページをご覧ください。
<https://jpn.pioneer/ja/carrozzeria/support/steering_remotecontrol/>
- AVIC-RQ/RLシリーズには、汎用ステアリングリモコンケーブルは付属しておりません。別売のステアリングリモコンケーブルまたは別売の取付キットに付属のステアリングリモコンケーブルをご使用ください。

■汎用ステアリングリモコンケーブルの接続について

同梱の汎用ステアリングリモコンケーブルは、下記イラストを参考に接続してください（イラストはイメージです）。

※記載の配線色は、接続する汎用ステアリングリモコンケーブル側の配線色です。



■ スバル (8P)

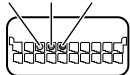
茶/黒 茶/黄



※茶/白リード線の配線は接続不要です。

■ トヨタ/ダイハツ系 (20P)

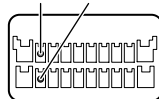
茶/白 茶/黄 茶/黒



※茶/黒リード線を接続する配線がない場合は車のボディの金属部に接続してください。

■ 三菱系 (20P)

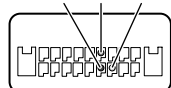
茶/黄 茶/黒



※茶/白リード線の配線は接続不要です。

■ スバル系 (20P)

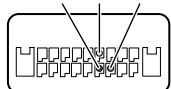
茶/黒 茶/黄 茶/白



※茶/白リード線の位置に配線がない場合は接続不要です。

■ 日産系 (20P)

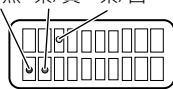
茶/黒 茶/白 茶/黄



※茶/白リード線の位置に配線がない場合は接続不要です。

■ スズキ系 (20P)

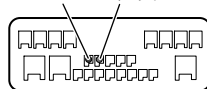
茶/黒 茶/黄 茶/白



※茶/白リード線の位置に配線がない場合は接続不要です。

■ マツダ系 (24P)

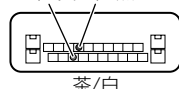
茶/黒 茶/黄



※茶/白リード線の配線は接続不要です。

■ ホンダ (24P)/(20P)

茶/黄 茶/黒



※茶/白リード線の位置に配線がない場合は接続不要です。

■ トヨタ/ダイハツ系 (28P)

茶/黒 茶/白茶/黄

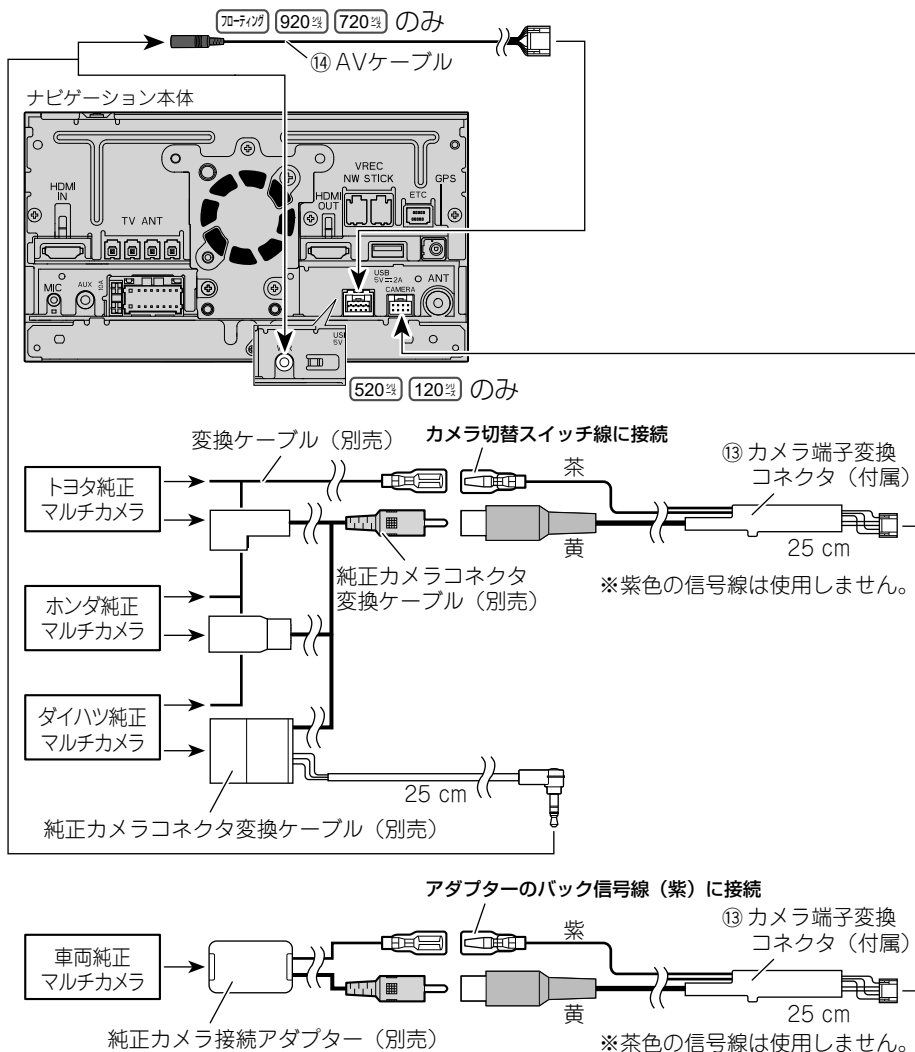


※茶/黒リード線を接続する配線がない場合は車のボディの金属部に接続してください。

カメラユニットの接続

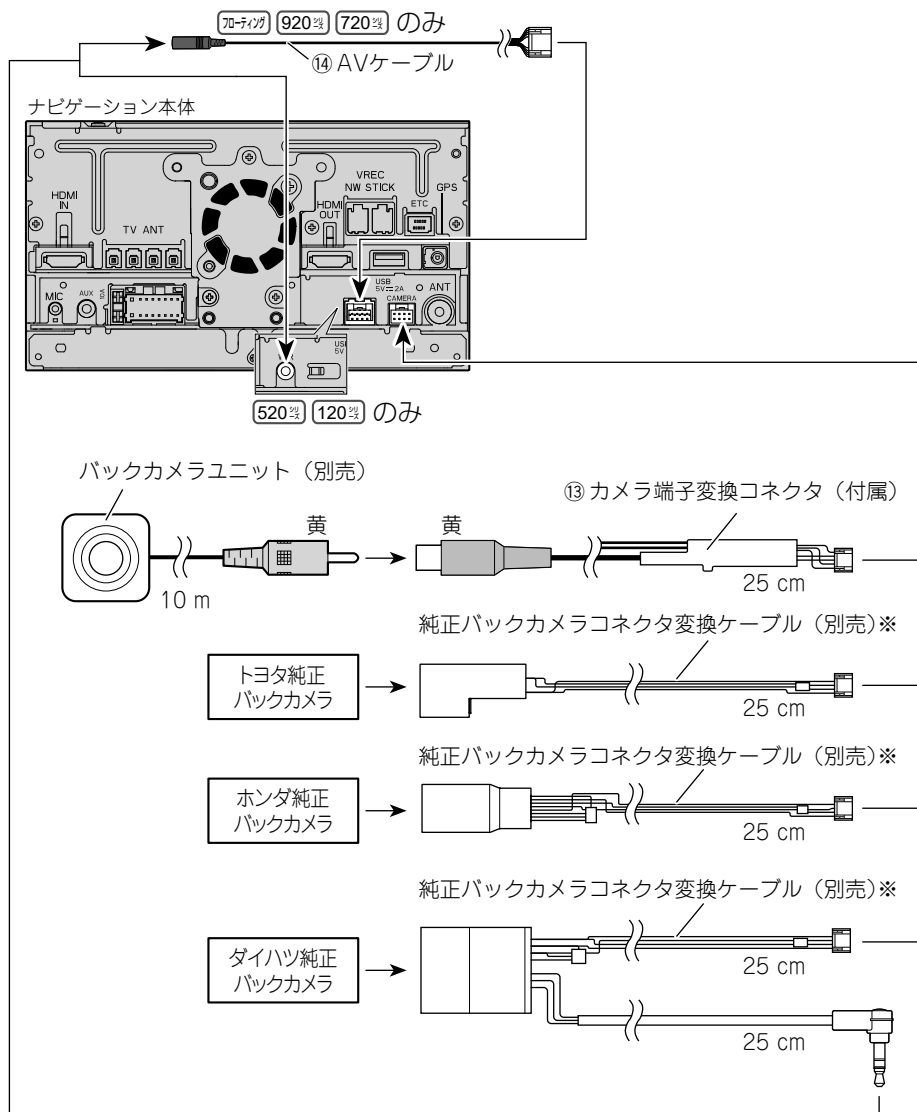
本機に付属のカメラ端子変換コネクタを使ってバックカメラユニット（別売）を接続できます。また、一部の純正マルチカメラや純正バックカメラも別売の変換ケーブルや純正カメラアダプターを使って接続できます。

■純正のマルチカメラと接続する



- バック信号入力線の接続が必要です。→「電源ケーブルの接続」(P.12)
- バックカメラの映像を本機に表示するには、バックカメラ設定が必要です。
→『取扱説明書』の「外部機器取り付け後の設定」

■別売のバックカメラユニットや純正のバックカメラと接続する



※ 車種ごとに適合した変換ケーブルが必要です。また、車種によっては配線加工が必要になる場合があります。詳しくは、弊社ホームページの純正バックカメラコネクタ変換ケーブル / 純正バックカメラ接続アダプター適合表をご覧ください。

<https://jpn.pioneer/ja/carrozzeria/support/backcamera_adapter/>

- バック信号入力線の接続が必要です。→「電源ケーブルの接続」(P.12)
- バックカメラの映像を本機に表示するには、本機の起動後に、設定画面からバックカメラの設定を行う必要があります。→「取扱説明書」の「外部機器取り付け後の設定」

専用ドライブレコーダー「VREC-DS810DC」の接続

本機専用のドライブレコーダー「VREC-DS810DC」には、下記3つの接続方法があります。ご購入いただいたモデルやお好みに合わせてお選びください。

● HDMI接続 70インチ 920型 720型 520型

ドライブレコーダーの映像をHD画質で本機の画面に表示できます。ただし、HDMI入力端子を使用するため、他のHDMIデバイスとの接続はできなくなります。

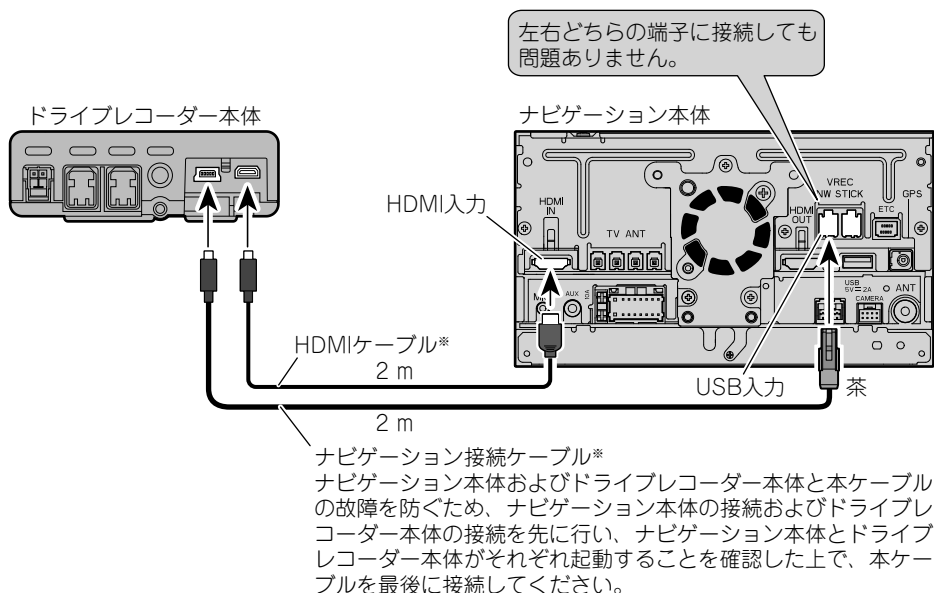
● AUX接続

接続にはAUX入力端子を使用します。HDMI接続と比べて画質は粗くなりますが、HDMI入力端子をドライブレコーダーではなく、他のHDMIデバイスに使用することができます。

● リバース連動ビュー接続 70インチ 920型 720型 520型

ドライブレコーダーのリアカメラをバックカメラとして使用できます。HDMI入力端子を使用するため、ドライブレコーダーの映像はHD画質で本機の画面に表示されますが、他のHDMIデバイスとの接続はできなくなります。

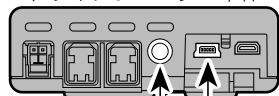
■ HDMI接続



※ドライブレコーダーに付属

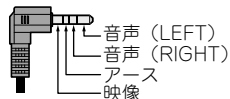
■AUX接続

ドライブレコーダー本体



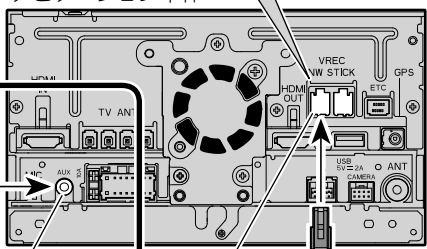
4極ミニピンジャックケーブル*
 L字ジャック側をナビゲーション本体へ
 接続してください。
 AUX入力の場合、HDMI入力と比べて
 画像が粗くなります。

本品の配線仕様は下図の通りですが、ドライブレコーダー本体の録音はモノラル録音となるため、ステレオ再生されません。



左右どちらの端子に接続しても
 問題ありません。

ナビゲーション本体



AUX入力

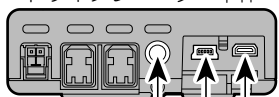
USB入力

ナビゲーション接続ケーブル*
 ナビゲーション本体およびドライブレコーダー
 本体と本ケーブルの故障を防ぐため、ナビゲーション
 本体の接続およびドライブレコーダー
 本体の接続を先にを行い、ナビゲーション本体とド
 ライブレコーダー本体がそれぞれ起動すること
 を確認した上で、本ケーブルを最後に接続して
 ください。

※ドライブレコーダーに付属

■リバーズ連動ビュー接続

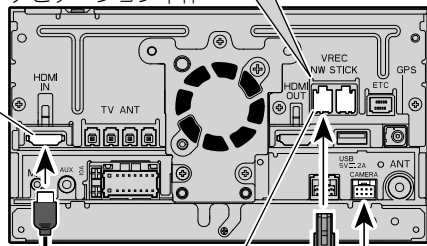
ドライブレコーダー本体



4極ミニピンジャック
 ケーブル*

HDMI入力

ナビゲーション本体



USB入力

ナビゲーション付属（または別売）
 のカメラ端子変換コネクタ

HDMIケーブル*
 2 m

ナビゲーション接続ケーブル*
 2 m

RCA変換ケーブル*
 15 cm 黄

25 cm

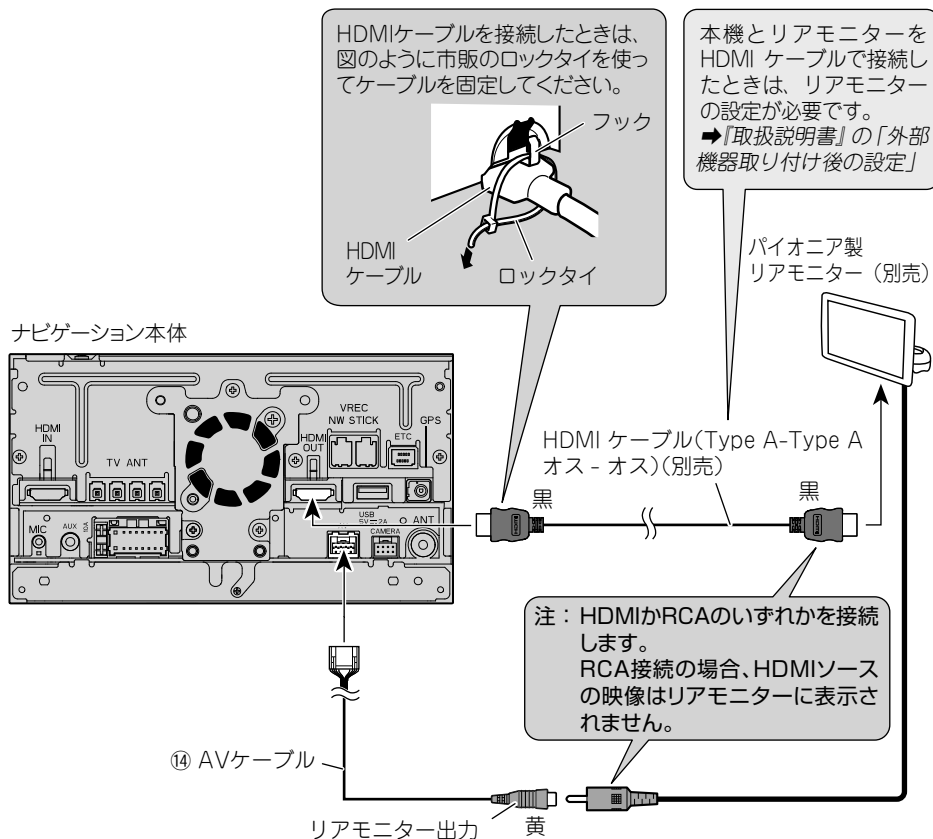
※ドライブレコーダーに付属

リアモニターの接続

70インチ 920型 720型 520型

■使用上のご注意

- 接続したリアモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができない位置に設置してください。
- パイオニア製以外のモニターを接続した場合は画像が乱れる場合があります。
また、フロントモニターに表示される映像と画質は異なります。
- リアモニターをHDMI接続で複数台接続する場合は→「リアモニターの複数台接続」(P.21)をご確認ください。
- 著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画すると、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、著作権保護の機能により、ビデオデッキを介してモニター出力した場合には、再生目的でも画質が劣化することがあります。これらは機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴するときは、本機とリアモニターを直接接続してお楽しみください。



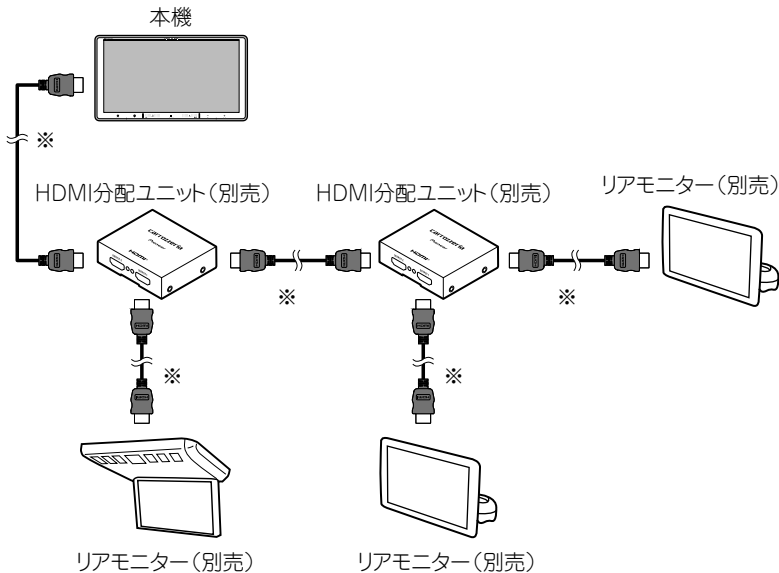
リアモニターの複数台接続

70インチ 920型 720型 520型

■ 使用上のご注意

- HDMI入力対応のリアモニターを複数台接続する場合は、パイオニア製のHDMI分配ユニットとパイオニア製のHDMIケーブルをお使いください。パイオニア製以外の製品やケーブルを使用した場合、映像が正しく出力されない等の場合があります。
- HDMI分配ユニット（別売）に同梱の『取扱説明書』をご確認ください。
- HDMI機器は最大5台（リアモニター 3台、HDMI分配ユニット 2台）まで接続できます。

■ 接続例（リアモニターを3台接続する場合）



※：パイオニア製HDMIケーブル (Type A-Type A オス-オス) (別売)

各ケーブルの接続のしかた

スマートフォン(Android™ 端末)の接続

70インチ 920型 720型 520型

別売の接続ケーブルを使ってスマートフォンを本機とHDMI接続することで、音楽や映像を再生できます。

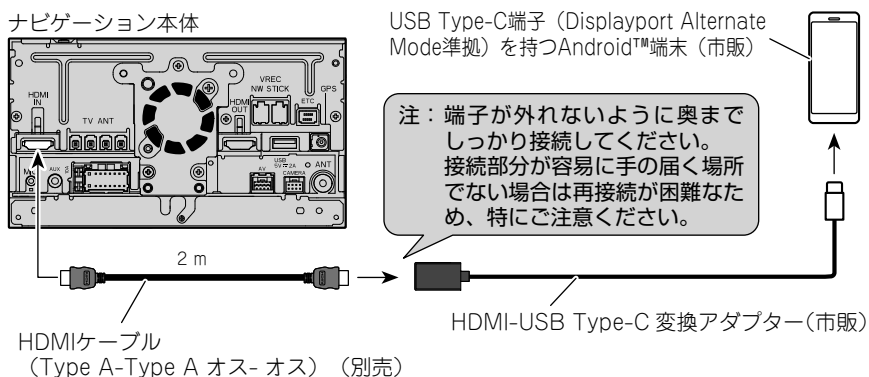
■対応Android™端末

Displayport Alternate Modelに準拠しているUSB Type-C端子を持つAndroid™端末

■接続上のご注意

- 必ず車のバッテリーの⊖端子を外してから接続してください。
- 指定のケーブル以外は使用しないでください。動作不良や、製品の破損・故障の原因となる恐れがあります。

■接続例



iPhone/iPodの接続

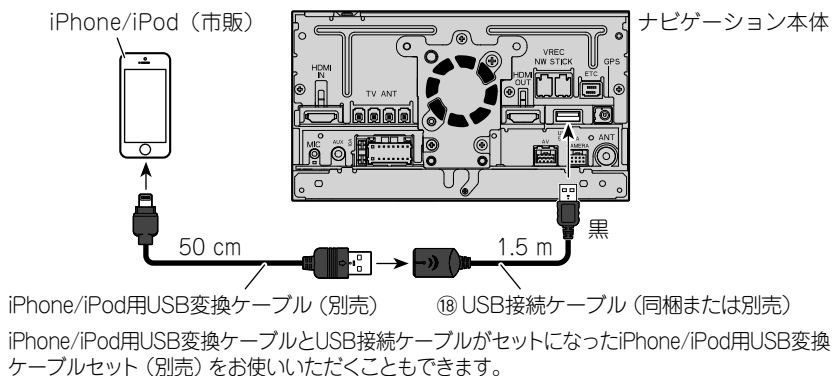
別売の接続ケーブルを使いLightningコネクタ対応のiPhone/iPodを本機と接続することで、音楽や映像を再生できます。

■ 接続上のご注意

- 必ず車のバッテリーの⊖端子を外してから接続してください。
- 指定のケーブル以外は使用しないでください。動作不良や、製品の破損・故障の原因となる恐れがあります。
- 適合情報のないiPhone/iPodについては動作確認をしておりませんのでご注意ください。
- 対応iPhone/iPodおよび制限事項については、弊社ホームページをご覧ください。
< <https://jpn.pioneer/ja/carrozzeria/> >

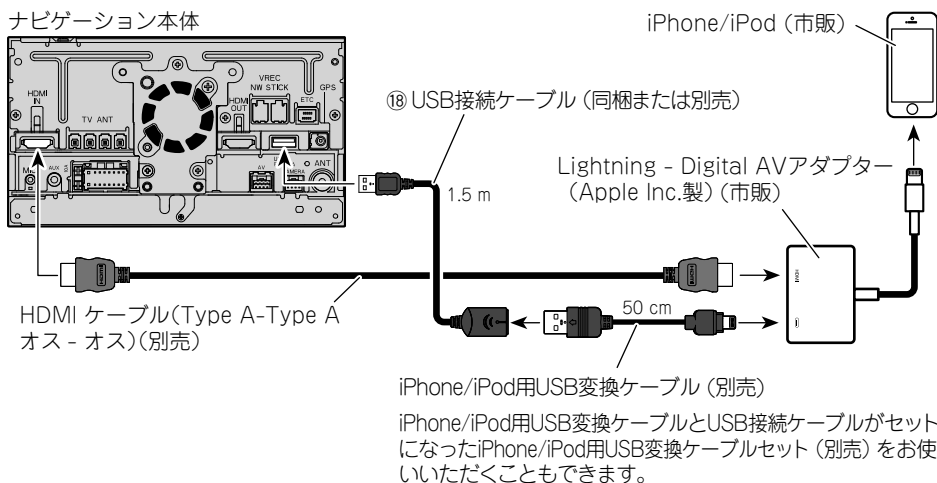
■ iPhone/iPodをUSB接続する場合

iPhone/iPodソースで音楽が楽しめます。



■ iPhone/iPodをHDMI接続する場合 70インチ 920% 720% 520%

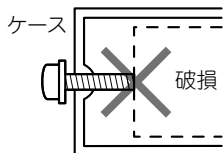
Lightning - Digital AVアダプターを使用して映像と音声を楽しめます。



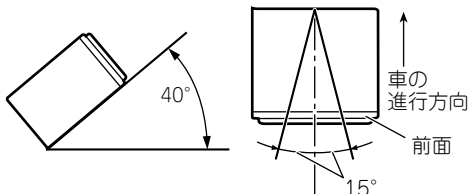
取り付けの前に知ってほしいこと

■ 取り付け上のご注意

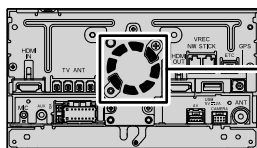
- 必ず本機に付属の部品を指定どおりに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして危険です。



- 本機の性能を十分に発揮するために、できるだけ水平に取り付けてください。また、取り付ける車両の特性上、取り付け角度が傾いてしまう場合は、水平に対して上の傾き40度以内の角度で取り付けてください。左右の傾きは車の進行方向に対してナビゲーション本体の前面が±15度以内の角度で取り付けてください。



- 必ず本機に付属のネジを使用して取り付けてください。付属のネジよりも長いネジを使用すると、本機内部の部品をいためることがあります。
- 放熱を妨げないために、下図の部分のを塞がないように配置してください。



この部分を塞がないでください。

■ 取り付けのポイント

● 粘着テープを貼り付ける前に

両面テープを貼り付けるところは、汚れをよく拭きとってください。

● 取り付け、固定する前に

まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認します。このときアンテナ類などは、受信状態の良い位置を確かめてから取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

● ノイズ防止のために

- フィルムアンテナの取り付けのしかたによっては、ラジオ放送に雑音が入る場合があります。フィルムアンテナは、フィルムアンテナの取り付けの説明に従って正しく取り付けてください。

- ノイズ防止のため、次のものはナビゲーション本体や他のケーブル類、コード類からできるだけ離して配置してください。

* フィルムアンテナおよびそのアンテナコード

* FM/AMアンテナおよびそのアンテナコード

* GPSアンテナおよびそのアンテナコード

- それぞれのアンテナコードどうしてもできるだけ離してください。一緒に束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。アンテナやアンテナコードにノイズが飛び込むと受信感度が悪くなります。

● 取付キットを別売しています

- 日産車に取り付ける場合は、車種や年式によって別売の日産車用取付化粧パネル「ADT-N979 II」が必要になることがありますので、販売店にご相談ください。

- 本機に「ADT-N979 II」を使用する場合は、上部にすきまができるようにパネルを上方向に寄せて取り付けてください。パネルを固定する際は、左右のみテープ留めを行い、上下にはテープを貼らないでください。

- 車種や年式によっては、別売のパイオニア製取付キットを使用しないと、取り付けられないこともあります。当社では車種別専用取付キットを用意してありますので、販売店にご相談ください。

モニターの角度と取り付け寸法について 70-ティンク

本機のモニターは取付位置と角度を調整できます。あらかじめ取り付け位置をご確認いただき、調整しても運転に支障が出る位置にしか取り付けできない場合は、本機の実取り付けは控えてください。

■ モニター取り付け位置の注意

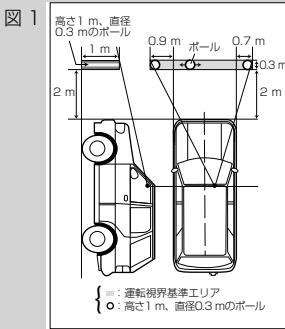
⚠ 警告

● 前方視界および直前側方視界を妨げる位置に取り付けると、道路運送車両の保安基準*に適合せず車検に通らなかったり整備不良の対象となる場合があります。

* 保安基準とは、道路運送車両の保安基準第21条、第44条、及び細目を定める告示第183条、第224条をいいます。

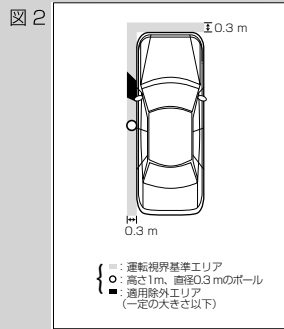
● 前方視界に関して

運転者が通常の運転状態における視点において、図1のポールが直接確認できるように取り付けください。



● 直前側方視界に関して

運転者が通常の運転状態における視点において、図2のポールが直接またはミラーやカメラ画像で確認できるように取り付けください。



● モニターは、以下の位置に取り付けしないでください。走行中の視界や操作、各種メーター類の視認に支障があると交通事故の原因になります。

- 前方視界を妨げる位置
- 直前側方視界を妨げる位置
- ハンドルや各種レバー（シフトレバー、ワイパーレバー、ウィンカーレバー等）操作や動作の妨げになる位置
- エアバックの作動を損なう位置
- ハザードスイッチ操作の妨げになる位置
- 安全運転上支障があるコントロールスイッチ操作の妨げになる位置
- 安全運転上支障があるもの（各種メーター、計器、警告表示）が視認できない位置

● 車両によってはモニターが各種スイッチ、各種パネル、グローブボックス、カップホルダなどの車室内の装備に干渉する場合があります。

● 車両によってはモニターがエアコン吹き出し口の前を塞ぐ場合があります。その際は取付位置を調整したり、付属スペーサーを利用するなどして、極力直風が当たらないように位置を調整してください。

● 角度調整は必ず本体とモニターを取り付けた後に行ってください。取り付けしていない状態で角度を動かそうとすると、大きな力が必要になり、ケガの原因になります。また、部品を歪ませたり、製品を破壊する恐れがあります。

● モニターを取り付け時は、指などを挟まないようにご注意ください。特にお子様にはご注意ください。

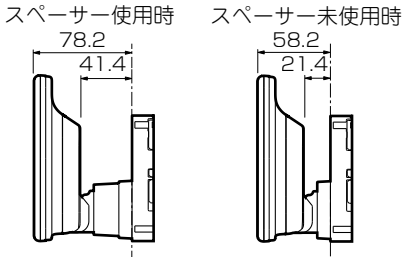
● モニターを倒した時に車両側と干渉する場合、SDカードの挿抜がしづらい場合があります。

● 車両への取り付けについて、ラチェットドライバー等の工具が必要になる場合があります。

車両への取り付けかた

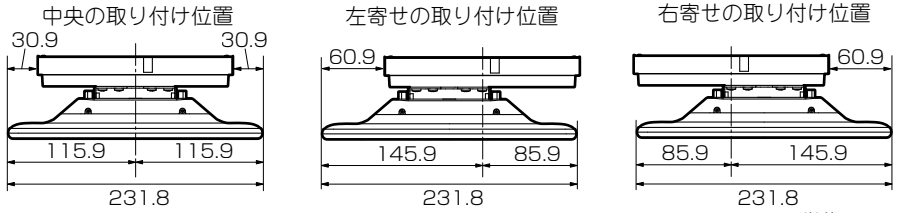
■モニター取り付け寸法・調整可能な位置

● 前後位置



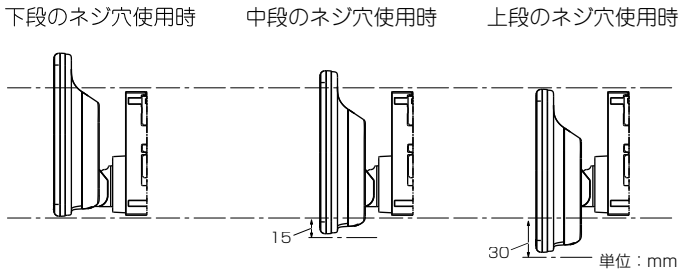
単位：mm

● 左右位置



単位：mm

● 上下位置



単位：mm

■ モニターの角度調整範囲

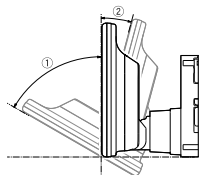
△警告

● 角度を調整するときは、指を挟まないように注意してください。特にお子様にはご注意ください。

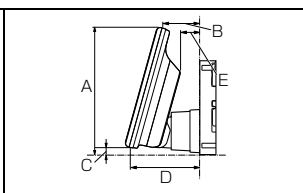
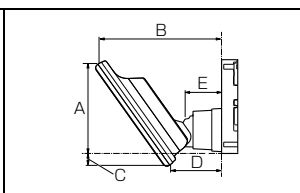
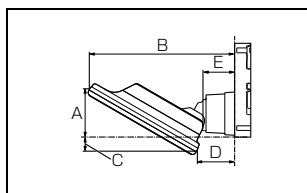
メモ

- 上下・前後位置に応じて、調整できない角度があります。
- 空白欄の角度での調整はできません。
- 下記の可動範囲は本機として可能な可動範囲です。可動範囲は車両によって異なります。

● スペーサーを使用している場合



モニター上下位置	①	②
0	60°	-15°
-15 mm	35°	
-30 mm		

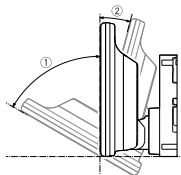


※	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
0	50.2	157.5	-15.8	43.2	36.3	95	133.3	-13.1	57.6	38.4	135.5	42.6	8	76.8	22.8
-15						82.7	124.7	-25.4	57.6	38.4	121	46.5	-6.5	80.7	26.7
-30						70.4	116.1	-37.7	40.4	33.8	106.5	50.4	-21	84.5	30.6

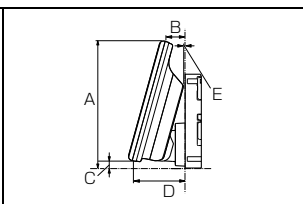
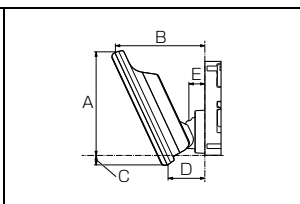
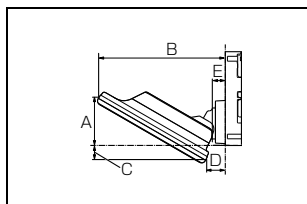
※：モニター上下位置

単位：mm

● スペーサーを使用していない場合



モニター上下位置	①	②
0	60°	-15°
-15 mm	25°	
-30 mm		



※	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
0	50.2	137.5	-15.8	23.2	16.3	109.2	98.6	-10.4	42.8	19.3	135.5	22.6	8	56.8	2.8
-15						95.6	92.3	-24	36.5	13	121	26.5	-6.5	60.7	6.7
-30						82	85.9	-37.6	30.1	6.6	106.5	30.4	-21	64.5	10.6

※：モニター上下位置

単位：mm

ナビゲーション本体の取り付け

■ 取り付ける 70-7171

ここではAVIC-RF920-DC/RF720の取り付け方法を説明します。その他の機種の実装方法は → P.32 をご確認ください。

アンテナや音声入力用マイク、各種ケーブル類の接続を完了させてから取り付け、固定を行ってください。

● 取り付けの流れ

1. ナビゲーション本体の取り付け

ナビゲーション本体を車に取り付けます。

2. モニター取り付け位置の事前確認

P.25 ~ 27の説明にしたがい、モニターが車の操作部分(シフトレバーなど)に干渉せず、運転の妨げにならない取り付け位置を事前に確認します。

3. ナビゲーション本体とモニターの接続

ナビゲーション本体のモニターケーブルをモニターに接続し、適切な長さに調節します。

4. モニターの取り付けと角度調整

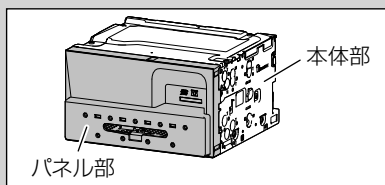
モニターをナビゲーション本体に取り付け、好みの角度に調整します。

▲ 警告

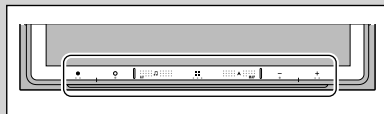
- エアバックの動作を妨げる位置には取り付けや配線を行わないでください。

▲ 注意

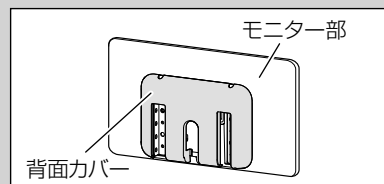
- パネル部と本体部はネジ止めされていない状態で梱包されています。取り付け時や持ち運び時はパネル部を持たないようにご注意ください。



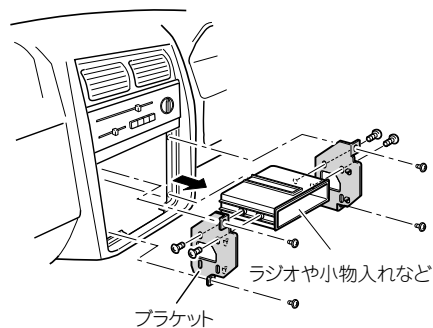
- 各ボタンの下の凸部は、衝撃を与えると白化したり、凸部がはがれる場合がありますので、取り付けの際は十分ご注意ください。



- がたつきや飛び出し防止のため、市販の取り付けケースは使用しないでください。
- モニター取り付け時および角度調整の際に、背面カバーの隙間から見えている金属部分を触ると、角で手を切る恐れがあるため、金属部分は触らないようにしてください。
- モニターの背面カバーはネジ止めされていない状態で梱包されています。取り付け時や持ち運び時は背面カバーのみを持たないようにご注意ください。モニターが落下して破損する恐れがあります。



1 車両のラジオ、小物入れなどを取り外します



注：取り外すネジの位置などは車種により異なります。詳しくは、お買い上げの販売店、または最寄りのディーラーにお問い合わせください。

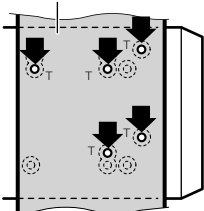
2 ネジ留めする位置を確認します

ブラケットを本機に重ねて、ネジ穴が合う位置を確認してください。

トヨタ車はT、日産車はNのマークの部分にネジ留めをします。

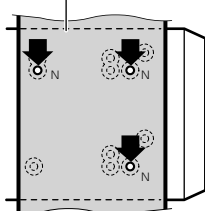
トヨタ車の場合

トヨタ車ブラケット



日産車の場合

日産車ブラケット



メモ

- 車種によっては、ネジ穴をずらして取り付け位置を調整できます。

3 ブラケットを付属のネジで取り付けます

左側、右側、それぞれ4カ所(または3カ所)ずつ、付属のネジでネジ留めします。



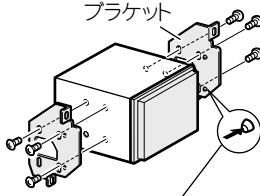
④トラスネジ× 8



⑤皿ネジ× 8

ブラケットのネジ穴の形状に合わせてネジを選びます。

ブラケット

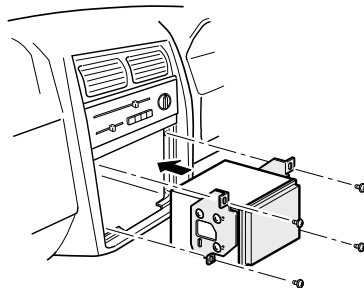


車両側のブラケットの凸部やツメが邪魔になり、浮いてしまう場合は、それらをハンマーなどでつぶす必要があります。

* 作業の際には安全に十分ご注意ください。

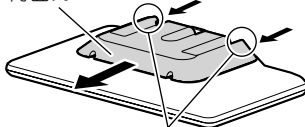
注：必ず本機に付属の取付ネジを使用してください。取付キットに付属のネジや純正ラジオから外したネジ等を使用すると故障の原因となります。付属のネジよりも長いネジを使用すると、本機内部の部品をいためることがあります。

4 元どおり車に取り付けます



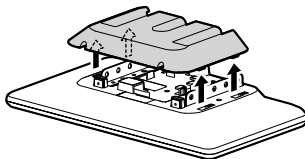
5 モニターの背面カバーを取り外します

背面カバー



①背面カバー下部の内側2カ所を均等に図の方向に押します。

②背面カバーをずらした後、そのまま真っすぐ図の方向に外します。



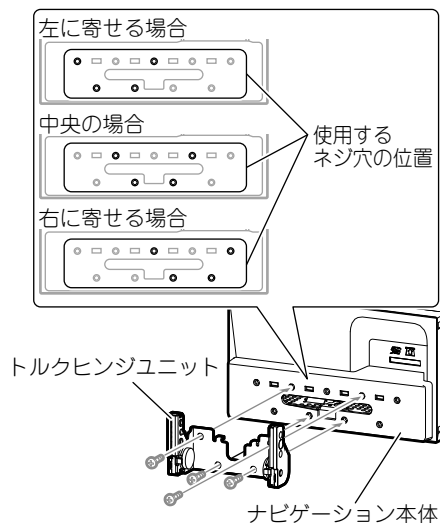
6 モニターの取り付け位置（左右、上下）を確認します

「モニターの角度と取り付け寸法について」(→ P.25)もあわせてご覧ください。

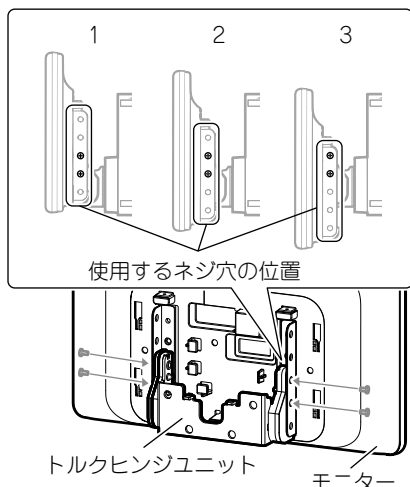
メモ

- 図中で示すネジ類は、実際には取り付けしないでください。

①トルクヒンジユニットの取り付け位置（左右）を確認します。

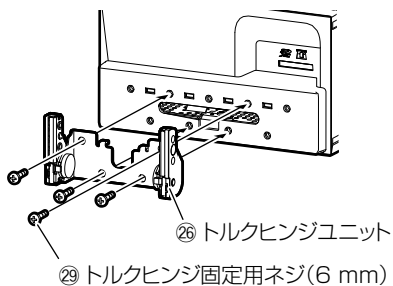


②モニターとトルクヒンジユニットの取り付け位置（高さ3段階）を確認します。

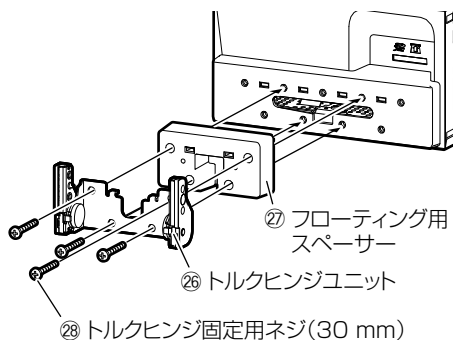


7 手順6で決めた左右位置に合わせて、トルクヒンジユニットをナビゲーション本体に取り付けます

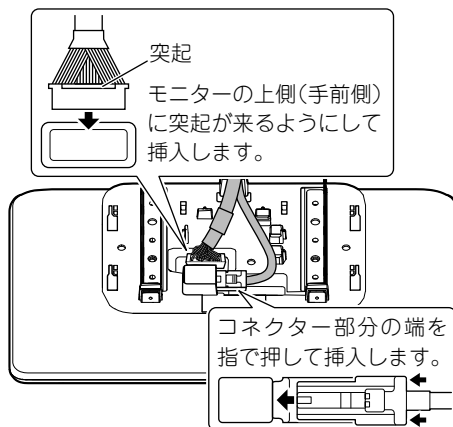
● スペーサー未使用時



● スペーサー使用時（必要な場合のみ使用）

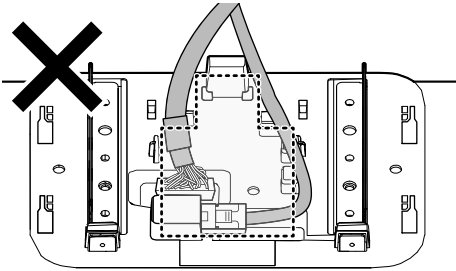
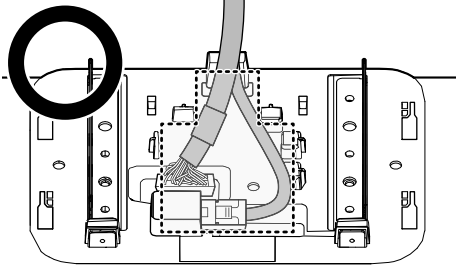


8 ナビゲーション本体のモニターケーブルをモニター背面のコネクタに接続します

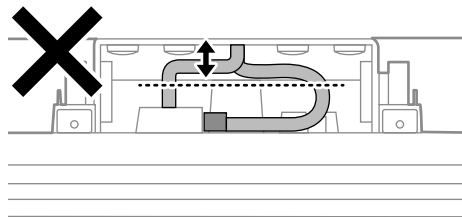
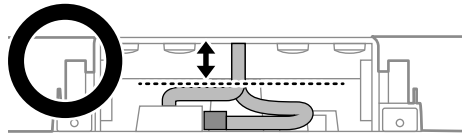


9 モニターケーブルの長さを調節します
 手順11で背面カバーを取り付ける際、モニターケーブルが邪魔にならないように下図①と②を参考にして長さを調整し、引き回してください。

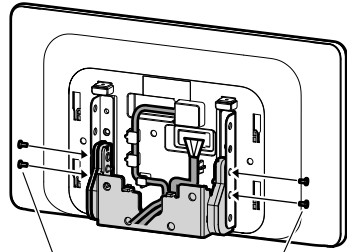
① モニターケーブルが点線の枠内に収まる長さにしてください。



② 真上から見て、モニターケーブルが必要以上に膨らまない長さにしてください。

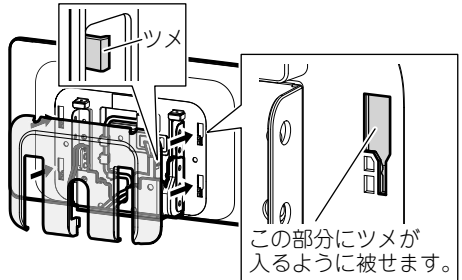


10 手順6で決めた上下位置に合わせて、モニターをナビゲーション本体（トルクヒンジユニット部）に取り付けます

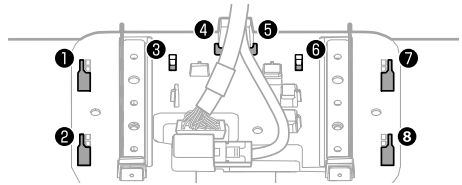


⑩ モニター固定用ネジ(12 mm)

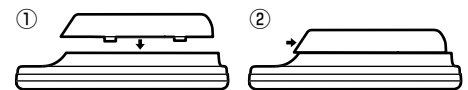
11 背面カバーを取り付けます



ツメをはめる箇所は8ヶ所あります。

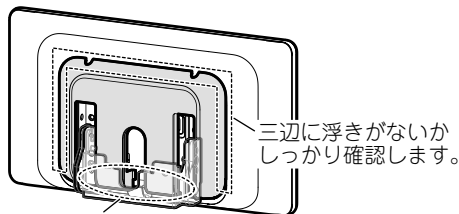


④と⑤はモニターケーブルと重なりツメがはめにくいため、先に背面カバー側へモニターケーブルを通しておくとツメがはめやすくなります。背面カバーはスライドロック機構となっているため、ツメをはめた直後は図のようにモニターと背面カバーがズレた状態となります。



車両への取り付けかた

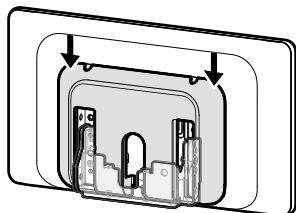
背面カバーに浮きが無いが、8ヶ所のツメがしっかりと入っているかを確認します。



ツメ④⑤の部分は浮きやすいため特に注意してください。



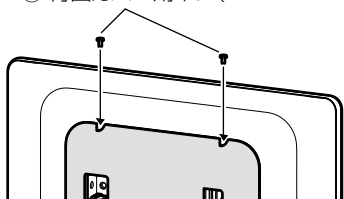
背面カバーを両手で押さえながら、図のように両端を矢印の方向に押しして“カチッ”と音がするまでスライドさせます。



もう一度、背面カバーが隙間なくピッタリとはまっていることを確認してください。

12 背面カバーを軽く押さえながら、モニターに固定します

③ 背面カバー用ネジ(2 mm × 4 mm)

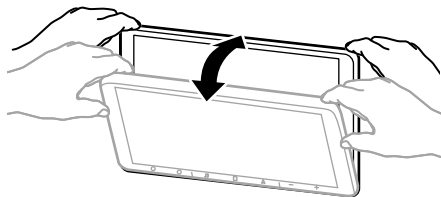


△注意

- 背面カバー用ネジは特に小さな部品のため、落として紛失しないようご注意ください。

13 モニターの角度を調整します

モニターの液晶部分に力を加えないように両端を持って、見やすい位置に調整してください。



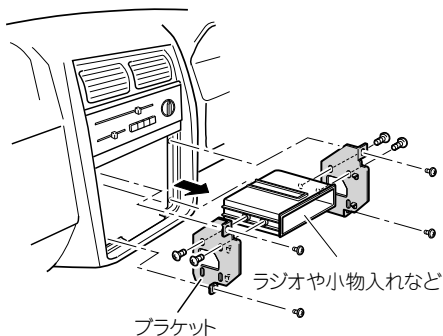
■ 取り付ける

920型 720型 520型 120型

- 各ボタンの下の凸部は、衝撃を与えると白化したり、凸部がはがれる場合がありますので、取り付けの際は十分ご注意ください。



1 車両のラジオ、小物入れなどを取り外します



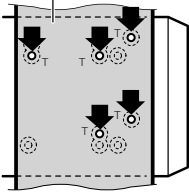
注：取り外すネジの位置などは車種により異なります。詳しくは、お買い上げの販売店、または最寄りのディーラーにお問い合わせください。

2 ネジ留めする位置を確認します

トヨタ車はT、日産車はNのマークの部分にネジ留めをします。

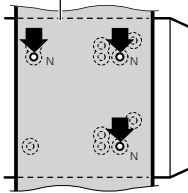
トヨタ車の場合

トヨタ車ブラケット



日産車の場合

日産車ブラケット



3 ブラケットを付属のネジで取り付けます

左側、右側、それぞれ3カ所～5カ所ずつ、付属のネジでネジ留めします。



④トラスネジ



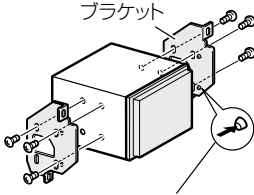
⑤皿ネジ

ブラケットのネジ穴の形状に合わせてネジを選びます。

※ AVIC-RQ920-DC/RL920-DC/RW920-DC/RQ720/RL720/RW720はバインドネジを使います。

※ AVIC-RL520/RW520/RW120はトラスネジのみです。

ブラケット

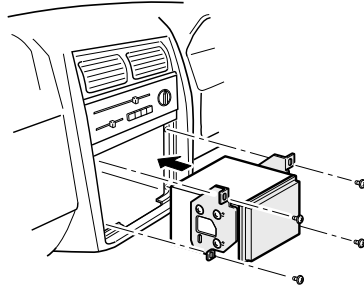


車両側のブラケットの凸部やツメが邪魔になり、浮いてしまう場合は、それらをハンマーなどでつぶす必要があります。

* 作業の際には安全に十分ご注意ください。

注：必ず本機に付属の取付ネジを使用してください。取付キットに付属のネジや純正ラジオから外したネジ等を使用すると故障の原因となります。付属のネジよりも長いネジを使用すると、本機内部の部品をいためることがあります。

4 元どおり車に取り付けます

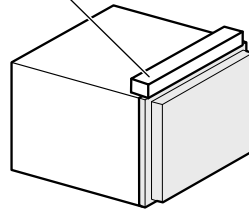


■ ナビゲーション本体取り付け後のご注意

ナビゲーション本体を取り付けたあと、車両との間にすきまがある場合は、ナビゲーション本体にスペーサーを貼ってすきまを塞いでください。なお、スペーサーを貼る手順は、車両によって異なります。

③スペーサー

(AVIC-RZ920-DC/RZ720のみ付属)



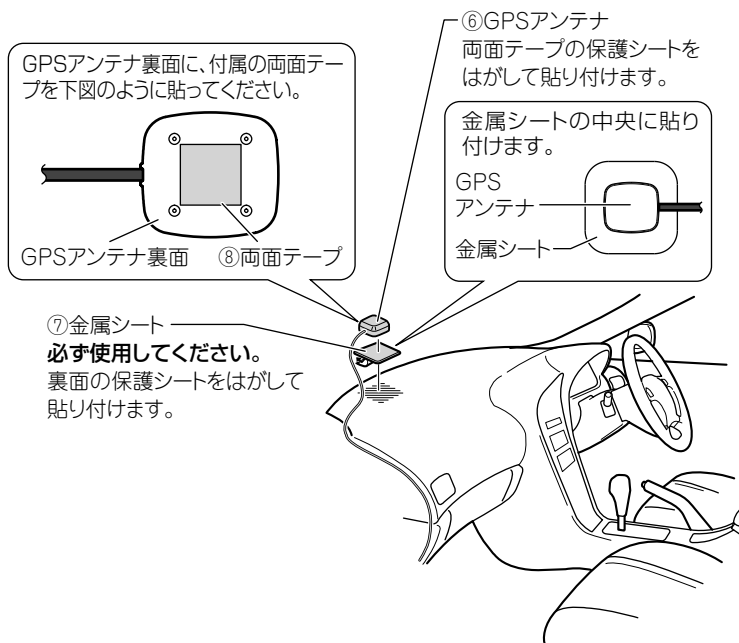
GPSアンテナの取り付け

■取り付け上のご注意

- 付属のGPSアンテナは車室内取り付け専用です。電波を通さないガラスを使用した車種の場合は、別売のGPSアンテナ（車室外取付用）（5 m）をお使いください。
- GPSアンテナは、ワイパーやピラーなどで遮られない場所に水平に取り付けてください。
- GPSアンテナを塗装しないでください。アンテナの性能が落ちる場合があります。
- GPSアンテナの取り付けには、必ず付属の金属シートを使用してください。使用しないと、十分な受信感度が得られなくなります。
- 付属の金属シートは、切って小さくしないでください。十分な受信感度が得られなくなります。
- GPSアンテナは、ナビゲーション本体から30 cm以上離して設置してください。また、余ったGPSアンテナコードをまとめて置くときも、ナビゲーション本体から30 cm以上離して置いてください。近くに設置すると、受信感度が低下する場合があります。
- GPSアンテナは、グローブボックス内等に設置しないでください。十分な受信感度を得られない場合があります。
- GPSアンテナを取り外すときは、アンテナコードを引っ張らないでください。コードが抜けてしまうことがあります。

■取り付け例（ダッシュボード上）

車室内のなるべく水平な場所でアンテナがウィンドウの外に向く場所に金属シートを貼り付け、GPSアンテナを金属シートの上に貼り付けます。アンテナの取り付け位置は [接続状態画面] を参考に、十分に受信できる位置に取り付けてください。



フィルムアンテナの取り付け

70-71cm 920mm 720mm 520mm

■取り付け上のご注意

- 保安基準*に適合させるため、本書をよくお読みになり、正しく貼り付けてください。
※保安基準とは、道路運送車両の保安基準第29条および細目を定める告示第195条をいいます。
- アンテナは、フロントウィンドウ貼り付け専用です。フロントウィンドウ以外には取り付けないでください。
- 熱線やプリントアンテナ上には貼り付けないでください。ショートや発熱、性能劣化の原因になります。
- 本書では、フィルムアンテナの取り付け前に車内の内張りを取り外すよう説明していますが、ピラーにフロントエアバッグを搭載している車両の場合は、絶対にピラーを取り外さないでください。フロントエアバッグの誤動作などの原因となり大変危険です。ピラーを取り外さずにフィルムアンテナを取り付ける方法について、詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 必ずフロントウィンドウの指定の位置・寸法内に貼り付けてください。
- 車室内に取り付けるアンテナは、エアコン用モーターなどから出るノイズにより、テレビの映りが悪くなる場合がありますが、故障ではありません。
- 車種によって、取り付けられない場合があります。販売店に相談してください。
- 熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど、電波を通さないガラスを使用した車種の場合には、受信感度が極端に低下します。お買い上げの販売店に確認してください。
- 必ず車内の取り付け場所に、市販のテープなどでいったんフィルムアンテナとアンテナケーブルを仮留めして、エレメントとアンプが貼り付けられることを確認してください。
- フィルムアンテナのフィルムやアンプの裏シートをはがしたあとは、給電端子などに手を触れないでください。静電気による故障や汗や汚れなどで接触不良の原因となります。
- フィルムアンテナは折り曲げないように、取り扱いに注意してください。
- 作業場所は、風がなく、空気中にゴミ、ホコリなどが無い場所を選んでください。
- 気温が低いときやガラスがくもってしまう場合は、接着力の低下を防ぐため、車内ヒーターやデフロスタースイッチをONにしてウィンドウを暖めておいてください。
- 他のアンテナから10 cm以上離して取り付けてください。
- 指定の位置や寸法内に取り付けられないことがあります。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- アンテナケーブルの余りをまとめるときは十分な曲げ角度（半径15 mm以上）を確保してください。

他のフィルムアンテナとの干渉を考慮して貼り付け位置を決めてください。

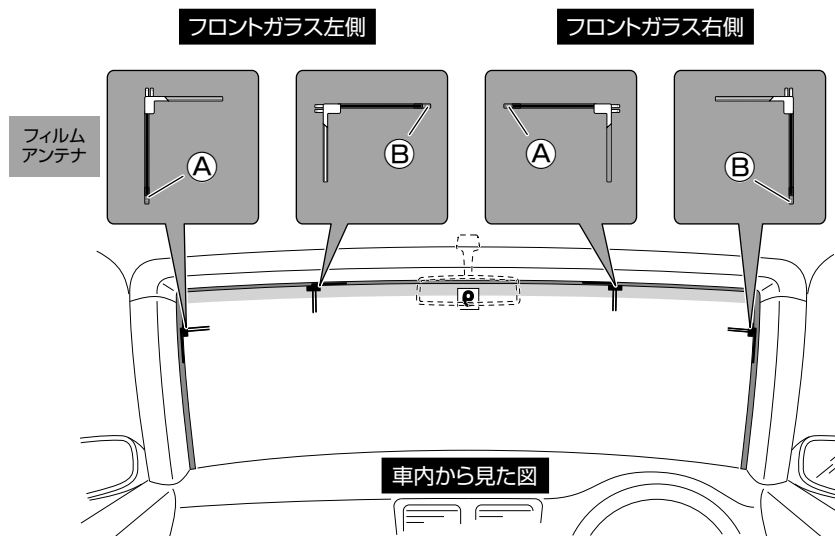
一度貼り付けると、粘着力が弱くなるため貼り直しできません。
必ずアンテナケーブルおよびフィルムアンテナを仮留めし、アンテナケーブルの引き回しなどを十分に検討してから貼り付けてください。

フィルムアンテナは必ず本機に付属のものをご使用ください。

■貼り付け位置について

フィルムアンテナは①、②の2種類が2本ずつで計4本あります。

フィルムアンテナは下記の位置に貼り付けてください。

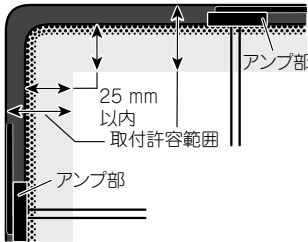
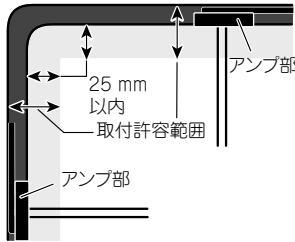


⚠️ 必ずお守りください

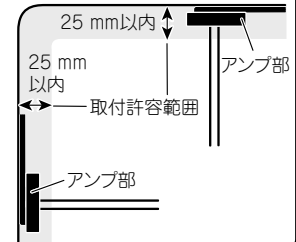
運転に安全な視界を確保し、性能を十分に発揮させるために、必ず「アンブ部の貼付許容範囲」および「エレメントの貼付許容範囲」の位置に貼り付けてください。許容範囲外に貼り付けると道路運送車両の保安基準に適合せず、車検に通らなかったり、整備不良の対象となります。

アンブ部の貼付許容範囲

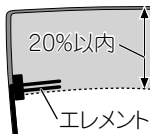
■ セラミックライン有り



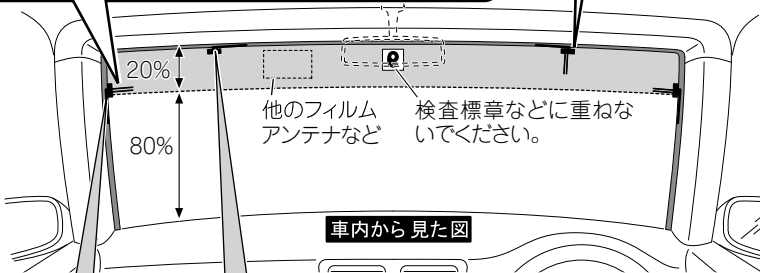
■ セラミックライン無し



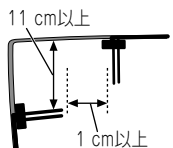
エレメントの貼付許容範囲



エレメント下端(透明部含む)がガラス開口部の実長の20%以内に納まるように貼る



車内から見た図



ウィンドウの黒い縁(セラミックライン)より11 cm以上離す

取り付け推奨範囲について

- フロントガラスのウィンドウの黒い縁(セラミックライン)より11 cm以上離す。
- 他のアンテナより10 cm以上離す。
- 同梱のフィルムアンテナどうしは1 cm以上離す。



ウィンドウの黒い縁(セラミックライン)より11 cm以上離す
他のアンテナより10 cm以上離す

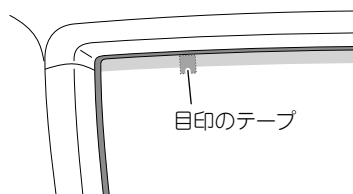
■フィルムアンテナを貼り付ける

フィルムアンテナは⑥用で説明しています。

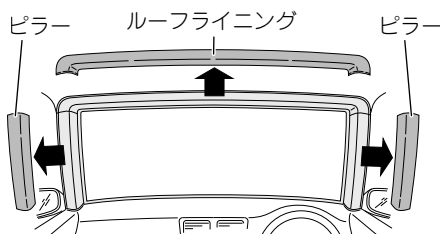
1 フィルムの仮位置を決めます

フィルムアンテナの貼り付けの際、➡「貼り付け位置について」(P.36)を参照して仮位置を決め、テープなどで目印を付けてください。

エレメント部とアンブ部の位置合わせとなる●マークが、ピラーなどで隠れないように注意して位置を決めてください。



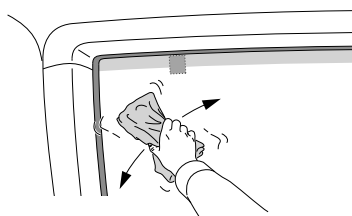
2 車内の内張り(ピラー、ルーフィニングなど)を取り外します



3 ケーブルを引き回す仮位置を決めます

4 フロントウィンドウ内側の汚れ、油などを取り除きます

フィルムアンテナを貼り付ける場所の湿気、ホコリ、汚れ、油などを、付属のクリーナークロスで取り除いてください。



注：クリーナークロスで拭いたあとは、貼り付ける場所およびエレメントには触れないでください。

5 フィルムアンテナを貼り付ける場所を、十分に乾燥させます

6 セパレーター 1をはがします

タグを持ってセパレーター 1をゆっくりはがします。

*セパレーター 1をはがしたあとは、粘着面に触れないでください。



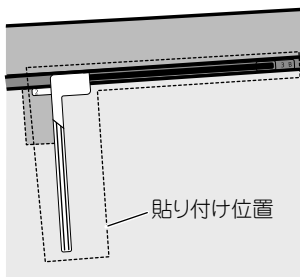
7 フィルムをフロントウィンドウに貼り付けます

ガラス面の目印に手順6で剥がした部分を貼り付けます。

フィルムに空気が入ったり、シワが寄らないようにゆっくりと端から貼り付けます。

一度貼り付けたフィルムをはがしたり位置を変えたりすることはできません。

- * ガラス面が乾いたことを確認してから貼り付けてください。ガラス面が濡れているとフィルムがガラス面に貼り付かない恐れがあります。

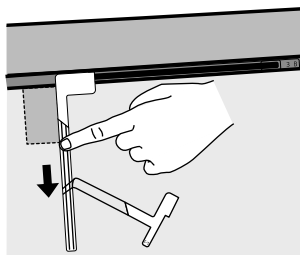


注：十分に汚れ、油膜、水分を拭きとってから貼り付けてください。また、真冬に車内が温かくなると、窓ガラスが結露しますので、十分に乾燥させてからフィルムを貼り付けてください。

8 セパレーター 2 をはがしながらエレメントを貼り付けます

指でエレメントをガラス面に押しつけながらセパレーター 2 をはがしてください。

- * 手順 11 でアンブを貼り付ける部分には触れないでください。



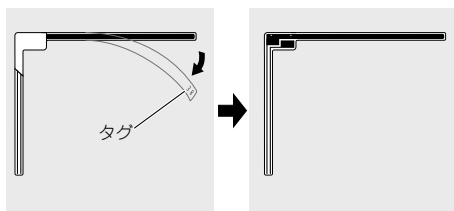
注：十分に汚れ、油膜、水分を拭きとってから貼り付けてください。また、真冬に車内が温かくなると、窓ガラスが結露しますので、十分に乾燥させてからエレメントを貼り付けてください。

9 残りのフィルムアンテナも同様に貼り付けます

10 保護フィルム3をはがします

エレメントがガラス面に貼り付いていることを確認しながら、タグを持って保護フィルム3をゆっくりはがします。

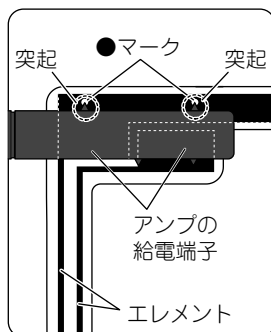
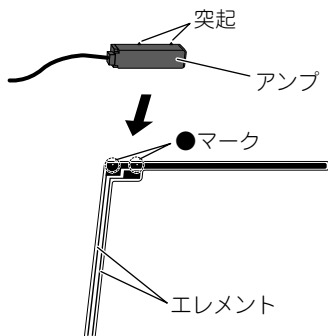
- * エレメントが保護フィルム3と一緒にはがれる場合は、保護フィルム3を元に戻してガラス面に貼り付くように強く押しつけてください。



エレメントだけが貼り付く

11 アンプをエレメントに貼り付けます

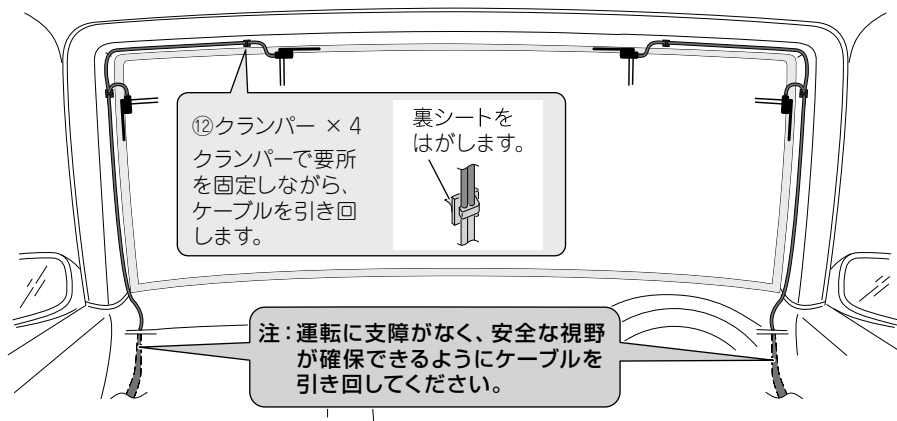
アンプの裏シートをはがして、エレメントの給電端子接触部の●マークと、アンプの給電端子の突起を合わせるように貼り付けます。



注：

- フィルムアンテナの●マークとアンプの給電端子の突起を合わせないと、受信できません。
- ケーブルを引っ張った状態で、アンプをエレメントに貼り付けしないでください。

12 ケーブルを引き回します



注：危険ですので、運転席の足元付近は、配線を引き回さないでください。

13 内張りを元に戻します

注：アンプのケーブル根元に負荷がかからないように注意してください。

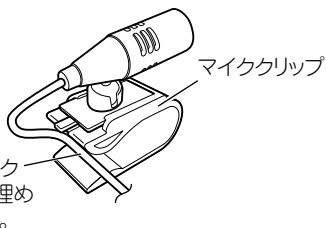
音声入力用マイクの取り付け

■取り付け上のご注意

ハンズフリー時に明瞭な音質を得るために、マイクはできるだけドライバーの近くに取り付けてください。また、エコー（反響音）を軽減するため、なるべく車のスピーカーから離れた位置に設置してください。

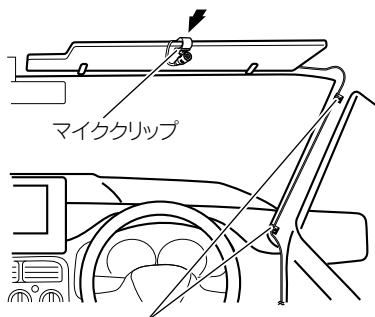
■サンバイザーにはさんで取り付ける場合

1 マイククリップの溝にマイクコードを埋め込みます



2 サンバイザーにマイククリップをはさみ込み、マイクを取り付けます

サンバイザーを上げた状態で取り付けます。サンバイザーを下げると、通話相手側へ音声が届きにくくなります。

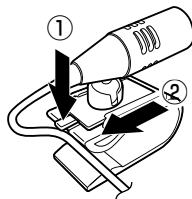


市販のクランパーなどで要所を固定しながら、運転操作に支障がないようにマイクコードを引き回します。

■ステアリングポストに取り付ける場合

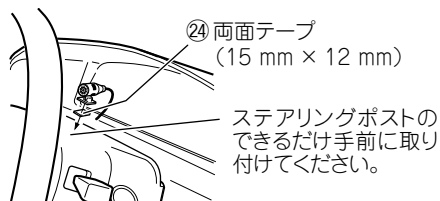
1 マイククリップを取り外します

ステアリングポストに取り付ける場合は、マイククリップを取り外します。



2 ステアリングポストにマイクを取り付けます

ステアリングポストに付属の両面テープで貼り付けます。



市販のクランパーなどで要所を固定しながら、運転操作に支障がないようにマイクコードを引き回します。

■マイク角度の調節のしかた

マイクの角度は、マイクの可動部を矢印の方向に動かして調節します。



接続・取り付けの確認を行う

接続・取り付けが終わったら、作業前に取り外した車のバッテリーのマイナス端子を元に戻してください。その後、車のエンジンをかけて本機を起動し、接続・取り付けの確認を行ってください。

- ここでは接続・取り付け確認の説明を目的とするため、マイセットアップ(手順3)は行わない流れとしています。マイセットアップの詳しい説明は『スタートアップガイド』をご覧ください。
- 画面は、例としてAVIC-RQ920-DCを使用しています。

1 車のエンジンをかけます

2 次の画面が表示されたら**通常モード**にタッチしてから**決定**にタッチします



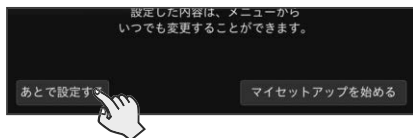
メモ

- この画面は、センサー初期学習が完了していないときにエンジンをかけると表示されます。

注意

- 店頭展示モードにしないでください。店頭展示モードにしてしまった場合は、エンジンをかけ直してください。

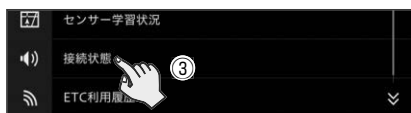
3 次の画面が表示されたら、**あとで設定する**にタッチします



4 田ボタンをタッチして、トップメニューを表示させ、**設定**にタッチします



5 田にタッチしてから**システム情報**→**接続状態**にタッチします



6 接続状態を確認します(→次ページ)



メモ

- ▲/▼または画面のフリック操作でページ送りができます。

7 接続状態を確認したら、**×**にタッチして確認画面を終了します

■ 接続状態画面の見かた

GPSアンテナ (⇒P.9)

GPSアンテナが正しく接続されていれば [OK]、未接続の場合には [未接続] が表示されます。アンテナマークでGPSアンテナの受信状態が示されます。電波の受信しやすい見晴らしのよい場所で2本以上バーが表示されていれば良好です。

測位状態

GPSの現在の測位状態 (3次元測位 / 2次元測位 / 未測位) が表示されます。右側に測位に使われている衛星 (橙色) と受信中の衛星 (黄色) の数がイラスト表示されます。3つ以上の衛星の電波を受信すると現在地の測位が可能になります。

取付位置 (⇒P.28)

本体の取り付け状態を確認できます。必ずエンジンをかけた状態で停車して確認してください。停車時に [振動許容範囲外] が表示された場合は、測位の精度が悪くなります。車の振動が少ない位置にしっかりと取り付けて、停車時に [OK] が表示されるのを確認してください。また走行後に [取付角度許容範囲外] が表示された場合は、本体の取り付け角度が許容範囲外です。販売店にご相談ください。

車速パルス

車速信号入力 (ピンクリード線) が正しく接続されていれば、車を走行させると、測定したパルス数が表示されます。パルス数は速度によって変化します。車速パルスの確認は、低速 (時速5 km程度) で行ってください。

バック信号 (⇒P.13)

バック信号入力 (紫 / 白リード線) の接続状態を確認できます。パーキングブレーキをかけブレーキペダルを踏んでから、シフトレバーをR (リバース) の位置からR (リバース) 以外の位置にするとLOWからHIGH、またはHIGHからLOWに切り換わります。

車両スイッチ簡易連動

車両カメラスイッチ信号を検知できる状態のときはここでの表示が [ON] になります。

接続アダプター連動

映像切換信号を検知できる状態のときはここでの表示が [ON] になります。

パーキングブレーキ (⇒P.12)

パーキングブレーキスイッチ (若草色リード線) の接続状態を確認できます。ブレーキペダルを踏んで、パーキングブレーキをかけ直し、パーキングブレーキを解除すると [OFF]、かけ直すと [ON] が表示されます。

イルミネーション (⇒P.13)

イルミ線 (橙 / 白リード線) の状態が表示されます。通常、車のライトの点灯・消灯により変化します。電流が流れているとき (点灯時) は [ON]、電流が流れていないとき (消灯時) は [OFF] と表示されます。

ETC2.0/ETCユニット (⇒P.8)

正しく接続されていれば [OK]、未接続の場合には [未接続]、エラーがある場合はエラー番号が表示されます。

車載器管理番号 (⇒P.8)

ETC2.0ユニットまたはETCユニットの番号が表示されます。ETC2.0ユニットまたはETCユニットが正しく接続されていない場合は表示されません。

カード有効期限 (⇒P.8)

現在接続中のETC2.0ユニットまたはETCユニットに挿入したカードの有効期限が表示されます。正しく接続されていない場合や、機種によっては表示されないことがあります。

ネットワークスティック (⇒P.10)

正しく接続されていれば [OK]、未接続の場合は [未接続] が表示されます。ネットワークスティック接続中は使用期限も表示されます (お客様が取り付けけた直後 (取り付けけた月) は表示されません)。

ドライブレコーダー (⇒P.10)

正しく接続されていて動作可能な場合は [OK]、未接続の場合は [未接続] が表示されます。

■ 接続機器の設定について

接続した機器に応じて設定が必要な場合があります。詳しくは『取扱説明書』の「外部機器取り付け後の設定」をご確認ください。

■ オプション品について

本機に接続できるオプション品やオプションケーブルなどについて、詳しくは『取扱説明書』の「オプション品を使って本機をより楽しもう」をご確認ください。

<各窓口へのお問い合わせ時のご注意>

「0120」で始まる電話番号は、携帯電話・PHS一部のIP電話などからは、ご使用になれません。

※《楽ナビ:バージョンアップ、ダウンロード操作、MapFan会員ID連携登録相談》を除く

携帯電話・PHSからは、ナビダイヤル、またはIP電話をご利用下さい。(通話料がかかります)

正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただく場合がございますので発信者番号の通知にご協力いただきますようお願いいたします。

商品についてのご相談窓口 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

パイオニア商品の取り付け・組み合わせなどについては、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

●商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター ※記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますのでお客様サポートサイトもご活用ください。

■お客様サポートサイト

<https://jpn.pioneer/ja/support/>



■商品についてのよくあるお問い合わせ (FAQ)

<https://faq2.jpn.pioneer/>



■電話

《カーオーディオ、カーナビゲーション商品》※受付時間はお客様サポートサイトでご確認ください

【固定電話から】 **0120-944-111** (無料)

【携帯電話・PHSから】 **050-3820-7540** (IP電話・有料)

または 0570-037-600 (ナビダイヤル・有料)

※カーナビゲーションの訪問宅電話番号検索機能に関する個人情報の削除などはこちらの窓口で承っております

《楽ナビ:バージョンアップ、ダウンロード操作、オーナーズリンク登録相談》

※受付時間はお客様サポートサイトでご確認ください

【固定電話から】 **0120-702-383** (無料)

【携帯電話・PHSから】 **050-3820-7541** (IP電話・有料)

または 0570-037-601 (ナビダイヤル・有料)

《楽ナビ:バージョンアップ、ダウンロード操作、MapFan会員ID連携登録相談》

※受付時間はお客様サポートサイトでご確認ください

担当窓口:MapFanスマートメンバーズサポートセンター(シオテクノロジー株式会社)

【固定電話から】 **0120-721-731** (無料)

【携帯電話・PHSから】 **0570-070-701** (ナビダイヤル・有料)

MapFanスマートメンバーズのよくあるお問い合わせ (FAQ)

<https://sp.mapfan.com/mfpi/help>



■ファックス **0570-037-602** (ナビダイヤル・有料)

修理についてのご相談窓口 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の「故障かな?と思ったら」を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。

それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

修理受付窓口

■修理受付サイト

受付時間、よくあるお問い合わせなどはホームページをご確認ください

<https://jpn.pioneer/ja/support/purpose/repair/>



■電話

【固定電話から】 **0120-5-81028** (無料)

【携帯電話・PHSから】 **050-3820-7550** (IP電話・有料)

または 0570-037-610 (ナビダイヤル・有料)

■ファックス **0120-5-81029** (無料)

部品のご購入についてのご相談窓口 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

●部品(付属品、取扱説明書など)のご購入について

部品受注センター

■部品受注サイト

受付時間、FAXでのご注文はホームページをご確認ください

<https://jpn.pioneer/ja/support/purpose/parts/>



■電話

【固定電話から】 **0120-5-81095** (無料)

【携帯電話・PHSから】 **050-3820-7551** (IP電話・有料)

または 0570-057-140 (ナビダイヤル・有料)

■ファックス **0120-5-81096** (無料)

令和5年3月現在

記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

VOL.11

パイオニア株式会社

〒113-0021

東京都文京区本駒込2-28-8 文京グリーンコート

© パイオニア株式会社 2022-2023

< KNZZ23D > < CRA5430-C >

